2023年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生 JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP FOR 2023

日本語・日本文化研修留学生コースガイド

COURSE GUIDE OF
JAPANESE STUDIES PROGRAM

番号 No.	大学名 Name of University	所 在 地 Location		ページ age	研修コース Type of Course
	国立大学 National University				
35	奈良教育大学 Nara University of Education	奈良県奈良市 Nara-shi, Nara		1	(a)(b)
36	奈良女子大学 Nara Women's University	奈良県奈良市 Nara-shi, Nara		4	(a)
37	和歌山大学 Wakayama University	和歌山県和歌山市 Wakayama-shi, Wakayama		7	(b)
38	兵庫教育大学 Hyogo University of Teacher Education	兵庫県加東市 Kato-shi, Hyogo		10	(a)
39	鳥取大学 Tottori University	鳥取県鳥取市 Tottori-shi, Tottori		13	(a)
40	島根大学 Shimane University	島根県松江市 Matsue-shi, Shimane		16	(a)
41	岡山大学 Okayama University	岡山県岡山市 Okayama-shi, Okayama		19	(b)
42	広島大学 Hiroshima University	広島県東広島市 HigashiHiroshima-shi, Hiroshima		22	(b)
43	山口大学 Yamaguchi University	山口県山口市 Yamaguchi-shi, Yamaguchi		25	(b)

番号	大学名	所 在 地		ページ	研修コース
N0.	Name of University	Location	Pa	ige	Type of Course
44	香川大学 Kagawa University	香川県高松市 Takamatsu-shi, Kagawa		28	(a)
45	高知大学 Kochi University	高知県高知市 Kochi-shi, Kochi		31	(b)
46	九州大学 Kyushu University	福岡県福岡市 Fukuoka-shi, Fukuoka		34	(a)
47	福岡教育大学 University of Teacher Education Fukuoka	福岡県宗像市 Munakata-shi, Fukuoka		37	(a)
48	佐賀大学 Saga University	佐賀県佐賀市 Saga-shi, Saga		39	(a)
49	長崎大学 Nagasaki University	長崎県長崎市 Nagasaki-shi, Nagasaki		42	(a)(b)
50	熊本大学 Kumamoto University	熊本県熊本市 Kumamoto-shi, Kumamoto		45	(a)(b)
51	大分大学 Oita University	大分県大分市 Oita-shi, Oita		48	(b)
52	宮崎大学 University of Miyazaki	宮崎県宮崎市 Miyazaki-shi, Miyazaki		51	(a)(b)

### <Note>

- 1.「研修コース」(Type of Course)
- (a) ・・・主に日本事情・日本文化に関する研修 A course intended mainly to study about Japan and Japanese culture
- (b) ・・・ 主に日本語能力の向上のための研修 A course intended mainly to improve Japanese language proficiency
- 2. 具体的な研修内容など、大学を選択する上で分からないことがある場合は、必ず大学へ問い合わせてください。
  If you have questions about the detail of the training program, please contact the university directly.





# 奈良教育大学 (奈良県)

## 古都・奈良で学ぶ 日本語・日本文化実地検証プログラム

-やまと-

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

1)特色と歴史

本学は1888年に奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、2018年で130年の歴史を有している。学部、教職大学院、大学院教育学研究科修士課程を設置し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としている。

2) 教員·学生数等: 教員数 93人 学生数 1.258人

#### ② 国際交流の実績

現在7か国12大学と国際交流協定を結び、小規模大学ながら活発に国際交流を行っている。

特に学生交流では、教員養成大学の特性(さまざまな専門領域の教育が提供されている)、古都奈良の特色を生かした留学生プログラムが高く評価されており、毎年、学部・大学院の正規留学生だけでなく、協定大学をはじめとする多様な国・地域からの留学生を多く受け入れている。

とりわけ日本語・日本文化研修留学生(以下、 日研生)は、1987年に初めて1名を受け入れて以来、 現在までに約40か国から約200名を受け入れてきた、 大きな実績がある。(④地域の特色参照)



#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数53人、日研生6人 2021年:留学生数33人、日研生3人 2020年:留学生数38人、日研生4人

#### ④ 地域の特色

本学がある奈良市は、8世紀には都(平城京)がおかれ 国際交流都市として日本の国家や文化の礎がつくられた ところである。そのため、現在でも町の中に伝統が色濃 く残っており、過去と現在が交差するユニークな都市で ある。

2010年には平城遷都1300年を迎え、益々国際交流に力を入れている。留学生に対しては地域からの期待も大きく、たくさんのサポートを受けることができる。

また大阪、京都にそれぞれ電車で1時間以内で行くこともできる。

#### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

以下の(a)(b)両方を対象とする。

- (a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- (b) 主に日本語能力の向上のための研修

#### |② 研修・コースの特色

本学はユネスコ世界遺産「古都奈良の文化財」に登録された社寺まで歩いて行けるだけでなく、本学内でも8世紀の寺の遺構が発掘されるなど、<u>伝統文化を日常の中で体感できる</u>、他にはない大学です。このような立地条件で提供するプログラム「やまと」の特色は以下のとおりです。

- 1) 日本文化の原点とも言える地にあるという利点を生かして、伝統文化が現代文化とどのように共存しているか、またその背景にある日本人の価値観とは何かが理解できるように、講義だけでなく、実地研修の中で指導する。
- 2) 日本語、および日本文化関連の授業、実地検証などに

おいて<u>日研生独自の年間カリキュラムを提供</u>する。

- 3) 教育大学であることの特色を生かし、<u>附属学校園</u>
  <u>の授業に日本人学生とともに参加</u>したり、子ども
  達と交流することで、<u>日本の教育の実状も体験</u>で
  きる。
- 4) 留学期間をとおして(特に後半の<u>修了レポート作成</u>において)、日研生各自の興味の対象に沿う指導を行う。

#### ③ 受入定員

21名 (大使館推薦15名、大学推薦6名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

規則を守り、真摯に日本語・日本文化を学習する 意欲のある者

日本語能力試験(JLPT)N2以上の日本語能力が望ましい。

また、少なくとも2年以上の日本語学習歴、専攻は 日本語学、日本文学、日本語教育、日本学、比較文 化学であることが望ましい。

#### ⑤ 達成目標

1) 日本語・日本文化をテーマとした研究・研修の成果に関する日本語の論文・レポートを作成できる2) 大学での研究や社会生活に必要な日本語運用力を身につけること。

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間:2023年9月下旬 ~ 2024年8月下旬 (在籍期間:2023年10月1日~2024年8月31日) ※修了認定は9月中旬~下旬となるため、修了証書 は後日郵送する。

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

※COVID-19の感染状況によって変更の可能性があります。

9月中旬~下旬:渡日、オリエンテーション

10月: 秋学期授業開始、秋季留学生懇談会(歓迎会)

11月: 日帰り学習旅行、大学祭

文化体験(1回目) 3月: 文化体験(2回目)

4月: 春学期授業開始、春季留学生懇談会(歓迎会)、

宿泊学習旅行

7月: 文化体験(3回目)

8月: 修了発表会 8月下旬:帰国

#### ⑨ コースの修了要件

以下の要件を満した場合、国際交流推進室がコース修了を認定し、修了証書を発行する。

- ・秋学期、春学期で指定された科目を含む合計14科目以上を履修し合格すること
- コースで定められた実地研修に参加すること
- ・本コースの成果として、日本や日本文化に関するレポートを日本語で作成すること
- ・成績証明書の発行 (各学期の終了後に発行します)

#### ※単位の認定及び単位互換

本コースで履修し合格した授業については単位が認定される。

★は必修科目、※は日本人学生の受講も可

大学推薦の学生は、取得した単位は大学間協定に基づいて互換することが可能である。

#### ① 研修・コース科目の概要・特色 ※COVID-19の感染状況によって変更の可能性があります。

#### 1) 研修・コースの特徴

日本語教育に関して、それぞれの日本語能カレベルに応じて、日本語教育の専門家による日本語科目が受けられる(学部留学生向けの科目も組み合わせて受講する)。 日本語・日本文化関連の授業では、言語・文化に関する深い知識について、その領域の専門家による講義と同時に、プロジェクトワークや学校交流等を取り入れた実践的 な日本語使用および文化理解の機会が提供される。

#### 2) 研修・コース開設科目

Ⅰ) 必修科目(★), Ⅱ) 選択科目:以下のとおり。1コマ90分

	授業科目	コマ数				★※日本文化史	15		15
		秋学期	春学期	計		★※比較文化論		15	15
日本語	(★)日本語 I (上級論文執筆技術)	15	15	30					
	(★)日本語Ⅱ(上級読解)	15	15	30		★※現代日本論		15	15
	(★)日本語コミュニケーション(体験型日本語 学習)	15		15	日本文化	※比較言語文化論Ⅱ	15		15
	(★)日本語演習Ⅱ(中上級アカデミック読解)	15		15		文化関連科目	15		15
	(★)日本語演習Ⅱ(中上級小論文執筆技術)	15		15		日本語文献講読(文化)		15	15
	(★)日本語演習 I (中上級文学読解)		15	15		※比較言語文化論 I		15	15
	(★)日本語演習 I (中上級小論文執筆)		15	15		※国際文化論		15	15
	(★)日本語文献講読(言語)		15	15		※日本語教育論	15		15
	・(★)日本語能力に応じて指導教員が指定した科目を履修			その他	※日本語教授法特講		15	15	
	上記の表に記載された留学生用授業が開講されていない時間は、日本語能力や興味に応じ				★修了レポート指導	_	_	_	
	)日本人向け授業を履修し、単位を取得することが 鼠の許可が必要)	できる(た)	たし指導教	貝およ	日本文化科目、	その他の科目のうち、			

日本人学生向け授業例

日本文学史 I 日本文学概説 I 日本文学概説Ⅱ 古典文学再入門『竹取物語』を読み直す 日本語学概説 I

アジアの中の日本美術史 民族音楽学 など

#### ① 研修・コース科目の概要・特色 (続き)

- 3) 見学、地域交流等の参加型科目 ※( ) 内は2019年度実施内容例
- 11月、1月 地域の小中学校での交流や授業体験 (日本人学生も参加)
- 11月 日帰り学習旅行(滋賀県近江八幡市)
- 4月 宿泊学習旅行(三重県答志島)
- 1月、3月 日本文化の体験
- (歌舞伎鑑賞、大相撲観戦、他)
- ・学内サークルや部活動に参加可能。
- ・大学主催の国際交流イベント(月1回程度)のほか、 地域団体主催の文化体験プログラムにも参加可能。



学習旅行 (答志島)



交流イベント「田植え」



交流イベント「なっきょん's café」

- 4) 日本人学生との共修の機会 以下の留学生向け科目((2)の表※を付した科目)は 日本人学生も受講可である。
- -日本文化史 -比較文化論 -現代日本論
- -比較言語文化論 Ⅰ / Ⅱ -日本語教育論
- -日本語教授法特講 -国際文化論

また以下の科目でも日本人学生との共修機会を提供している。

- -日本人向け科目(授業担当教員の許可の下受講可)
- -日本語科目におけるクラス活動(地域の交流の準備時間等)

#### ⑪ 指導体制

学業面では以下の教員が個別指導を行う。

- ( )内は専門分野
- \*和泉元 千春(日本語教育学)

izumimotoc@cc.nara-edu.ac.jp

\* 小村 明子(比較文化学)

komura. akiko. 8b@cc. nara-edu. ac. jp



附属幼稚園児を対象とした絵本の読み聞かせ



附属小学校での 交流授業

#### ■宿 舎

日研生は、特に事情がない限り、大学の学生宿舎に 入居する。

寮費 約18,500円/月 (但し、居室光熱費別途) Wi-fi設備あり。

#### ◇その他

来日後に、全員、国民健康保険(月額約2,500円)、 外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(略称:インバウンド付帯学総)(年額約3,000円)に 加入する必要があります。

また、胸部レントゲン検査を受けてもらいます。

#### ■修了生へのフォローアップ

#### ①指導体制

帰国後の学生が研究留学生として再渡日を希望する 場合には、比較文化学及び日本語教育学を専門とする 留学生担当教員がe-mail 等で助言している。

#### ②キャリアパス (一例)

日本やその他の国の日本語教育機関において教職、 研究職に従事。 日本語能力、日本理解を必要とする 日本国内外の企業への就職。

#### ■問合せ先

< 担当部署>

奈良教育大学学生支援課国際交流 · 留学生係

住所: 〒630-8528

奈良県奈良市高畑町

TEL: +81-742-27-9148 (直通)

FAX: +81-742-27-9146

Email: ryugaku@nara-edu.ac.jp

くウェブサイト>

奈良教育大学国際交流留学センター:

https://www.nara-edu.ac.jp/CIES/

奈良教育大学:

https://www.nara-edu.ac.jp/



# 奈良女子大学(奈良県)

# 日本の原点「まほろば」の地で日本のことばと文化を学ぶ



#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

本学は、1908年(明治41年)に創設された奈良 女子高等師範学校を前身としており、 2019年に創 立110年を迎えました。この間日本における女性の 最高教育機関としての役割を担ってきました。

文学部、理学部、生活環境学部、工学部の4学部、 大学院人間文化総合科学研究科を擁し、小規模な がらも幅広い分野の研究教育を実施しています。

教員数は約200名、学生数は約2,700名であり、 きめ細やかな少人数教育が特徴です。

#### ② 国際交流の実績

58大学(アジア41大学、欧米等17大学)と国際 交流協定を締結しています。

本学を卒業・修了した留学生には、母国の大学で教員をしている方も多数います。

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数 141人、日研生 1人 2021年: 留学生数 148人、日研生 3人 2020年: 留学生数 145人、日研生 0人

(各年10月1日現在)

#### ④ 地域の特色

奈良は日本の古い都(710年平城京遷都)で、多くの世界遺産に恵まれた日本有数の観光地です。都市部に比べて物価も安く、大阪・京都へも約40分で行けることから、留学生が「日本語・日本文化」を勉強するには最適の場所です。大学は、世界遺産に指定されている寺社や鹿で有名な奈良公園に隣接しています。

### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

a)主に日本事情・日本文化に関する研修

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行います。

#### ② 研修・コースの特色

伝統文化の息づく古都・奈良で、日本語、日本 文化について体験的に学ぶことが出来ます。留学 生1人1人にチューターを配置し、生活面、学習面 でも細やかなサポートを行います。

#### ③ 受入定員

5名 (大使館推薦 4名、大学推薦 1名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N2程度の日本語力を有し、2年以上の日本語学習歴がある女子学生。

#### ⑤ 達成目標

- ・日本や日本文化について学際的に学び、その理 解を深める
- ・日本語で論文・レポートを執筆できる
- ・日本語能力試験N1相当の日本語力を身に付ける

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間:2023年10月1日 ~ 2024年8月31日 (在籍期間:2023年10月1日~ 2024年8月31日) 修了式は8月を予定



#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

10月上旬:渡日

10月: オリエンテーション、歓迎会、生け花教室 11月: 茶道体験教室、大学祭、留学生研修旅行

5月: 生け花教室、茶道体験教室

6月: 日本語スピーチ大会、留学生研修旅行

8月: 送別会、修了式

8月下旬:帰国

※その他、留学生と日本人学生の交流事業イベント、 研修旅行、奈良のお祭への参加や参観も含めた多数 のイベントがあります。



ま「「術曲「道ル他すにがた競書研」華」に、る参出、技道究「道等所大様加来「の属学々すま弓る「「楽「サでがなるする」、「楽」を提企こ。



#### ⑨ コースの修了要件

指定された必修12科目、選択5科目以上を受講し、 15科目以上の合格をもって修了証明書(日本語・ 英語)を発行します。合格科目については成績評 価書が発行され、国際交流協定校の学生は、協定 に基づいて本籍大学で単位認定を受けることがで きます。

#### ⑪ 研修・コース科目の概要・特色

#### 1)研修・コース科目の特徴

必修である日本語科目の他、日本文化や古都奈良についての科目など、日本に関する幅広い分野の科目を日本人と一緒に受講します。 \*は日研生専用科目です。

#### 2) 研修・コース開設科目

Ⅰ)必須科目(○コマ数、時間数)・内容

科目名	秋	春	時間数
日本語IA(文法)		0	30
日本語 I B (文法)	0		30
日本語 I C (読解・漢字)		0	30
日本語 I D (読解・漢字)	0		30
日本語IIA(聴解)		0	30
日本語IIB(聴解)	0		30
日本語IC(作文)		0	30
日本語IID(作文)	0		30
*日本語学基礎講読 Ⅰ / Ⅱ	0	0	30/30
*日本語プレゼンテーション		0	20
*☆修了レポート		0	30
計			350



☆ 担当指導教員のもと、4,000字程度の修了レポートを日本語で執筆します。テーマは、担当指導教員と相談して決めますが、日本に関わるものであれば可です。

#### Ⅱ)選択科目(○コマ数、時間数)・内容

秋	春	時間数
0		15
	0	15
	0	30
0		30
	0	30
0		30
	0	30
0		30
0		30
	0	30
	0	30
	0	30
0		30
	0	30
	0	30
0	0	30
	0 0 0	0

☆指導教員が認めた場合、上記以外の科目を選択 科目として受講することも出来ます

# 3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

科目名	秋	春	時間数
スポーツ実習C4 (武道:剣道、なぎなた)		0	30
奈良を知る	0		15
留学生インターンシップ	0	0	30
コミュニティ・リサーチ		0	30
国際グループワーク I / Ⅱ	0	0	15/15

#### 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

必須科目と一部選択科目を除き、全て日本人学生とともに学習します。特に、参加型科目の「国際グループワーク I/Ⅱ」は日本人学生と留学生の共修を目的とした科目です。



#### ① 指導体制

コースの運営は、国際交流センターが文学部言語文化学科日本アジア言語文化学コースと連携して行います。担当指導教員は、各留学生の興味の分野に応じて全学より選任します。担当指導教員は修了レポート指導を行います。



### ■宿 舎

#### ①宿舎数

- ・国際交流会館 単身用 36室、 夫婦用・世帯用 各1室
- ・国際学生宿舎 単身用 32室

#### ② 宿舎費

【国際交流会館(単身室)】

- •家賃:5,900円/月、
- ・退去時清掃費及び光熱水費等:20,000円(入居時) 【国際学生宿舎】
- •家賃:4,700円/月、清掃費:8,000円(退去時)
- ★どちらの宿舎も共益費、光熱水費が毎月別途必要

#### ※ 宿舎周辺の生活情報、通学時間

宿舎は大学から徒歩5分以内にあり、通学に便利です。 最寄り駅からも徒歩5分程度で、駅周辺には店も多く、 生活にも便利なところです。



#### ※ 宿舎設備・備品

ベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。





#### ■修了生へのフォローアップ

- メールによる個別相談
- 本学大学院への進学相談

#### ■問合せ先

<担当部署>

奈良女子大学国際課留学生係

住所: 〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋東町

TEL: +81-742-20-3240 (直诵)

FAX: +81-742-20-3309

Email: ryugakusei@cc. nara-wu. ac. jp

<ウェブサイト>

奈良女子大学 留学生のためのサイト:

http://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/ja/index.html

奈良女子大学:

http://www.nara-wu.ac.jp/



# 和歌山大学(和歌山県)

## ~地域とともに学ぶ~ 地域に根ざした和歌山大学で学びませんか?

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

和歌山大学は、1949年(昭和24年)に新制大学と して設置されました。本学は、学芸学部(現・教 育学部)・経済学部の2学部をもって発足し、1995 年 (平成7年) 10月にシステム工学部を、2008年 (平成20年度) 4月に観光学部を開設し、4学部か らなる和歌山県下唯一の国立大学法人として順調 な発展を遂げています。特に本学は学部から大学 院(博士前期・博士後期)へ至る一貫した観光学 の教育課程を有する国立大学唯一の高等教育機関 であり、2017年に国連世界観光機関(UNWTO)が実施 する「TedQual認証」を日本で初めて取得し、国際 水準の教育を展開しています。

本プログラムは全学体制で実施されます。主に 教養科目と教育学部開設科目を履修しますが、そ の他の学部の開設科目を履修することもできます。 和歌山大学では、留学生ひとりひとりに対して、 きめ細やかな指導・支援をしています。





左:キャンパスの様子 右:那智の滝と青岸渡寺三重塔

#### ② 国際交流の実績

大学間の交流協定数 50校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数144人、日研生9人 2021年:留学生数141人、日研生9人 2020年: 留学生数138人. 日研生5人

#### ④ 地域の特色

和歌山は温暖な気候、変化に富んだ海岸線、様々な 生き物が棲む美しい海. 緑豊かな山々. 清らかな河 川などの豊かな自然、四季折々の多彩な食材などが 誇るべき魅力的なところであり、博物学の巨星南方 熊楠、世界初の麻酔手術で知られる華岡青洲、国連 が「世界津波の日」を制定して讃える濱口梧陵らが 生まれ育ち、活躍した土地です。和歌山大学のある 和歌山市は大阪市内から約1時間、関西国際空港から 約30分のところに位置する人口約35万人の都市です 。和歌山県北部に位置するため大阪、京都、奈良に も近く、県南部には世界遺産「紀伊山地の霊場と参 詣道」もある恵まれた歴史・文化的環境にあります。 。和歌山市内を一望できる高台にある緑溢れるキャ ンパスで、伸び伸びと学べる静かな環境が整ってい ます。

また、万葉集に歌われた和歌の浦や和歌山城など の史跡や名所に恵まれた伝統の町でもあります。

地域の方々による異文化交流、NPO支援団体、学 生支援サークル等全面的な留学生支援を活発に行っ ています。生きた日本語を学ぶ機会に恵まれていま す。

> 世界遺産 能野本宮大社

#### ■研修・コースの概要

- ① 研修・コースの目的
- b) 主に日本語能力の向上のための研修
- ② 研修・コースの特色

プログラム担当教員のアドバイスに従って日本語 ・日本文学・日本文化に関する授業に出席し、ま た研究を行う。

#### ③ 受入定員

10名 (大使館推薦5名、大学推薦5名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

- 専攻が日本語あるいは日本文化等に関する専 攻で学習歴1年以上
- ・「日本語能力試験N3」程度、又は「実用日本 語検定J. TEST D級」程度の学力
- ・日本と母国の架け橋人材に相応しい人物

#### ⑤ 達成目標

日本文化を自国の文化と比較することによって. 深く理解できるようになります。アカデミック ジャパニーズを習得し、アカデミックライティン グの力をつけます。

日研生は、各自1年かけて修了レポートを書き上 げます。それを研修成果報告会で発表します。

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間: 2023年9月下旬 ~ 2024年9月下旬 (在籍期間: 2023年10月1日~2024年9月30日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日(2023年9月27日予定)

9月末 開講式及びオリエンテーション

10月 第2学期授業開始

10月 秋季留学生歓迎交流会

11月 大学祭

11月 留学生日帰り研修旅行

12月 日本語スピーチコンテスト

2月 第2学期定期試験

4月 第1学期授業開始

5月 春季留学生歓迎交流会

6月 作文コンクール

8月 第1学期定期試験

9月中旬 日研生修了式及び送別会

9月下旬 帰国 (2024年9月22日予定)

#### ⑨ コースの修了要件

取得単位数と修了レポートを総合的に判断して修 了を認定します。研修を修了した学生には、修了 証書及び成績証明書(和文・英文)を交付します。 前期・後期=必修科目各5科目(10単位)

選択科目各3科目(6単位)

早期修了は不可能

#### ① 研修・コース科目の概要・特色

- 1) 研修・コース科目の特徴
- ①4技能のレベルアップを目指し、②日本文化体験を通して、異文化理解を深め、③修了レポートを作成する。レポートは、単なる報告ではなく、各自のテーマについて研究した成果をまとめて発表する。
- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必須科目(年間 300時間)

「日本語中級A~D, K~N」各30時間

「日本語上級A~D, K~N」各30時間

\*日本語日本文化について専門的に学び、研究することができる日本語能力(高度な読解力、テーマを決めて必要な資料を集めまとめる力、レポートや論文を書く力)を付ける。

「日本語日本文化研究A·K」各30時間

\*日本語日本文化について広く学び、研究レポートを書き、発表する。

Ⅱ)選択科目(年間 180時間)(共修科目)

「外国語としての日本語を学ぶ」 30時間

\* 外国語としての日本語の特徴を学び、実際に外国人に教える模擬授業を行う。

「ビジネス・コミュニケーション」 30時間

「ビジネス日本語」 30時間

\*日本文化を理解し、さらにビジネスで必要とされる日本語を学ぶ

「日本学概論」 30時間

\*社会学、歴史学、民俗学、言語学など多角的な 視点から、多言語多文化共生を目指して日本の社 会や文化について学ぶ。

「世界の中の日本語」 30時間

\*日本語の特徴を学び、外国人に対する日本語の教え方や、「やさしい日本語」「継承語」など多言語社会における日本語、日本語教育の問題について学ぶ。

3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加 出来る科目及びその具体的な内容

「日本事情」 30時間

- \*和歌山の歴史・文化・伝統芸能を学び、地域の御祭りである「和歌祭」に参加することで、 地域の人と交流する機会が持てる。
- 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

「フィールドワーク演習」30時間

\*和歌山及び周辺地域でのフィールドワークや 伝統文化である書道、茶道などの体験学習を組み込み、日本文化を総合的に理解する。

「国際開発論」 30時間 「国際関係論」 30時間

\*日本・和歌山を含めた学生出身国の多様な視点や価値観を理解し、課題に対して新しいアプローチや解決方法を考える能力を身につける。





- ① 指導体制
- 1)プログラム指導教員 長友文子教授(日本語教育) 安本博司准教授(日本語教育) 留学生の勉学上の関心に応じて適宜副指導教 員が指導します。

#### 2) 指導体制

日本語・日本文化などに関わる国際イニシア ティブ基幹日本学教育研究センター教員および その他の学部の教員が指導にあたります。個々 の日本語能力に基づいた細やかな指導を行って います。生活面については、国際イニシアティ ブ基幹日本学教育研究センターが指導・助言を します。

### ■宿 舎

和歌山大学では大学に隣接している民間寮(グリーンプラネットハウス)を宿舎として紹介しています。

#### 〇部屋のタイプ 単身用 (1R)

#### 〇宿舎費

月額45,700円(朝・夕食付き) 通信費込み、光熱水費自己負担 入寮時に入寮費・保証金(57,500円)及び火災 保険料(4,800円)を支払う必要があります。

#### 〇宿舎設備・備品

個室:ベッド, 机, 椅子, エアコン, ユニット バストイレ, バルコニー

共用:ランドリー、自炊室

自転車置き場(無料), バイク置き場(月額500 円)あり

〇宿舎周辺の生活情報, 通学時間

所在地:和歌山市中 大学まで徒歩約3分



グリーンプラネットハウス 外観



上:和歌山城 下:和歌祭







左上:狂言ワークショップ 右下:紀州ぶんだら踊り

### ■修了生へのフォローアップ

留学生のための進路指導,就職支援を行っています。日本語・日本文化研修留学生には,帰国後も修了者同士が連絡を取り合えるように国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センターがお手伝いします。



留学生日帰り研修旅行



### ■問合せ先

<担当部署>

和歌山大学国際イニシアティブ基幹 日本学教育研究センター 国際交流課

住所:〒640-8510

和歌山県和歌山市栄谷930

TEL:+81-73-457-7524 FAX:+81-73-457-7886

E-mail: <u>kokusai@ml.wakayama-u.ac.jp</u>

<ウェブサイト> 和歌山大学国際イニシアティブ基幹 日本学教育センター

http://www.wakayama-u.ac.jp/cjs/

和歌山大学ホームページ

http://www.wakayama-u.ac.jp/

担当(指導)教員

長友文子

国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センター 教授

メールアト・レス: <u>nagatomo@wakayama-u. ac. jp</u>

安本博司

国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センター 准教授

メールアト゛レス: yasuhiro@wakayama-u.ac.jp



# 兵庫教育大学 (兵庫県)

## 自然・文化・人が融和する大学で日本の心にふれることができます!

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に 関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院 修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する 教員養成大学として1978年10月に設置された大学 です。

さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博 士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育 学研究科(博士課程)が設置されました。

在籍学生は、大学院、学部生あわせて1,600名であ り、教員は、あらゆる分野の専門家を擁していま す。

#### 学習環境

雄大な播磨平野の一角に位置し、自然豊かな学習 環境にあり、40万㎡の広大なキャンパスには、附 属図書館、教育研究棟等が機能的に配置され、最 新の教育研究設備・機器が整備されています。学 生宿舎等も充実し、快適なキャンパスライフが送 れるようになっています。

国際的な視野に立つ教員・事務スタッフも充実し、 加東市と連携したフレンドシップファミリーのサ ポート体制も整えています。また、国籍の異なる 学生も在籍することから、国際交流の機会も増え、 幅広い学習が期待できます。



#### ② 国際交流の実績

大学間交流協定校: 32大学

欧米地域:ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部、ウィ スコンシン大学オークレア校、ハイデルベルグ教育大学、ル ツェルン教育大学、ヘルシンキ大学、ユヴァスキュラ大学、 ラトビア大学、カレル大学教育学部、ミュンスター大学

韓国:ソウル教育大学校、大邱教育大学校、京仁教育大学校、 全州教育大学校、公州大学校

中国:華南師範大学、海南師範大学、湖南理工学院、浙江師 範大学、寧波大学、東北師範大学、北京師範大学

(台湾): 屏東大学、台中教育大学、台北教育大学、高雄師 節大学、実践大学

**タイ**:チュラロンコン大学、ピブンソンクラム地域総合大学 モンゴル:モンゴル国立教育大学

ベトナム:バリア・ブンタウ教員養成大学、ダナン大学 カンボジア: プノンペン教育大学

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数 23人、日研生 1人 2021年: 留学生数 30人、日研生 2人 2020年: 留学生数 28人、日研生 1人

#### ④ 地域の特色

加東市は豊かな風土に育まれ 時代を越えて受け継がれてき た有形・無形の文化財が数多 くあります。朝光寺(国宝) をはじめ、国史ゆかりの神社 仏閣が多数あり、歴史探訪を 誘ってくれます。また、加古 川水系に見られる滝など自然 に恵まれ、四季折々の変化が



楽しめフィールド散策等もできます。さらに秋祭りなど地域 密着型の行事から、地域の方々とふれあうことができ、日本 人の心のふるさとを感じさせる伝統文化のある地域です。

#### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

#### ② 研修・コースの特色

本コースは、1年間で日本の原風景に出会い、日本人 の心に接することができる「日本の心探訪」コース と言えます。日本語をマスターし、日本文化に対す る見識を高めるために各科目の講義、演習をはじめ、 日帰り研修旅行などが用意されるほか、国際交流の ための講演会、地域の国際交流活動にも参加できる プログラムとなっています。

#### ③ 受入定員

3名 (大使館推薦2名、大学推薦1名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

- 外国(日本国以外)の大学に在籍し、日本語・ 日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学 する者で、帰国時点にその大学に在籍している 者(1年生を除く)
- JLPT:N2相当の日本語能力を有する者

#### ⑤ 達成目標

- 日本語能力の向上を目指す(JLPT:N1合格)
- ・実体験を通して日本文化を学ぶ

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

2023年10月1日 ~ 2024年9月30日 (2023年10月1日 ~ 2024年9月30日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

(※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定変更の可能性があります。)

9月下旬:渡日

10月: 秋学期開始、オリエンテーション

フレンドシップファミリーのつどい

加東市秋のフェスティバル

11月: 近隣学校への国際交流授業

6月: 日本文化研修

7月: 研究成果発表会

9月: 日本文化体験研修(茶道・華道)

日本語・日本文化研修留学生修了式

9月下旬:帰国(2022年は9月21日)

#### ⑨ コースの修了要件

1)コースの修了要件

下記の授業科目区分のとおり、20単位以上の単位を取得し、特定の課題についての 修了論文(レポート)を作成のうえ、研究発表を行うこと。

また、見学、地域交流型参加科目の参加も行うこと。

日本語	日本文化実習・演習	日本文化講義	特別研究	総修得単位数
2単位以上	2単位以上	2単位以上	4単位	20単位以上

#### 2) 修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、上記の修了要件 を満たした者に対し、修了証書(英文・ 和文)を発行します。

3) 修了時に求められる日本語能力 のレベル

日本語により修了論文(レポート)を作 成し、日本語での研究発表・質疑応答が 出来る日本語能力が求められます。





日本文化研修(姫路城)

#### ① 研修・コース科目の概要・特色

#### 1)研修・コース科目の特徴

本コースは、日本語、日本文化実習・演習、日本文化講義及び特別研究の4つの授 業科目からなり、グローバル教育センター所属の日本語教育専門教員のもと、履修 登録をはじめとしたアドバイスを受けます。

#### 2) 研修・コース開設科目

#### I ) 必須科目

日本語コミュニケーション・・・日本語講義・演習(15コマ30時間)

外国人児童生徒のための日本語教育・・・日本人学生との共修(15コマ30時間)

日本事情・・・日本の自然、社会、歴史、芸術(15コマ30時間)

特別研究・・・日本語・日本文化研究及び修了論文

#### Ⅱ)選択科目

#### <日本語>

- ・国語学 I・・・現代日本語(15コマ30時間)
- ・国語学 II(音声言語及び文章表現を含む)・・・古典学習(15コマ30時間)
- ・アカデミック日本語・・・日本語の文章作成・発表(15コマ30時間)

#### <日本文化実習・演習>

- ・書写・書道・・・書写の指導方法(15コマ30時間)
- ・調理学実習・・・調理の技術習得(30コマ60時間)
- ・工芸実技・・・・陶芸、染色、漆芸の作品制作(30コマ60時間)
- 器楽演習 I・・・楽器奏法に関する演習(15コマ30時間)
- ・合奏演習・・・・演奏発表(15コマ30時間)

#### <日本文化講義>

- ・文学と読解・・・日本の古典~近代文学の知識習得・読解(15コマ30時間)
- 初等社会・・・・日本の初等社会科(15コマ30時間)
- ・暮らしのなかの憲法・・日本の憲法(15コマ30時間)
- ・地学 I・・・・・地震、火山噴火、気象現象、宇宙(15コマ30時間)
- ・食物学 I (食品及び栄養学を含む)・・食生活(15コマ30時間) ・食物学Ⅱ・・・・食品の成分特性、調理過程の変化(15コマ30時間)
- ・住居学(製図を含む)・・住まいのあり方(15コマ30時間)
- ・初等家庭・・・・日本の小学校家庭科(15コマ30時間)
- ・体育・スポーツ文化論 I・・体育・スポーツの本質(15コマ30時間)
- ※ 2022年4月1日現在の授業科目であり、変更の可能性があります。
- ※ その他の学校教育学部開設授業科目についても、授業担当教員の許可を得て、 履修することが可能であり、修了要件の修得単位に含むことができます。

- 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容
- 1. 教育現場体験研修

近隣小・中・高等学校での授業参観及び授業参加を行い、日本の教育現場、教育事情の体験研修を実施しています。

#### 2. 日本文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ、体験できるよう日本文化体験研修を実施しています。

#### 3. 日本文化実習

地元加東市を中心に、日本の生活習慣を体験するフレンドシップファミリーとの交流行事や、茶道、華道体験を実施しています。





诉隣の学校で教育実習体験

茶道体験

4)日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容 学校教育学部開設授業科目について、授業担当教員の許可を得て履修し、日本 人学部学生との共修が可能です。

#### <一例>

「外国人児童生徒のための日本語教育」

- (1) 外国人児童生徒の現状や、学校生活における困難についての理解を深める
- (2) 第二言語習得やバイリンガル教育の基礎知識を得る
- (3) 日本語や日本文化(特に学校文化)を相対的に捉える視点を養う

#### ① 指導体制

1) 指導教員

グローバル教育センター所属の大学教員が指導教員となり、留学生の関心に 合致した個別指導を行います。

#### 2) 学業面の個別指導

指導教員が一年間を通して履修指導や修了論文(レポート)指導を行います。

#### 3) チューター制度

チューターは、留学生を一対一で支援する日本人の学生のことで、専門分野の学習や日常生活での助言を行います。また良き相談相手、よき友人として留学生活サポートします。

#### 4) 相談体制

国際交流会館の外国人留学生相談室で国際交流会館相談主事が留学生からの 相談に応じます。

#### ■宿 舎

大学キャンパス内の国際交流会館には外国人留学生専用の単身室が設けられています。



国際交流会館



単身室

#### ■修了生へのフォローアップ

本学を修了後にはメール等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っています。また、本学の大学院への進学等についての相談等を行っています。

#### ■問合せ先

<担当部署>

兵庫教育大学教育研究部学生支援課国際交流チーム

住所 〒673-1494

兵庫県加東市下久米942-1

TEL +81-795-44-2043 (直通)

FAX +81-795-44-2049

E-mail office-kokusai-t@ml.hyogo-u.ac.jp

<ウェブサイト>

兵庫教育大学: http://www.hyogo-u.ac.jp/



ひょうちゃん



# 鳥取大学(鳥取県)

学内外での交流を通して、実践的な日本語力を身につけ、日本文化・地域文化について幅広く学びます。

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

鳥取大学は、地域学部、医学部、工学部、農学部 で構成されています。「知と実践の融合」を基本理 念として、教育、研究及び社会貢献に取り組み、地 域に根差し国際的に飛躍する大学として、多方面に わたって精力的な活動を行い、地域と世界の発展に 寄与しています。また、文部科学省の「グローバル 人材育成推進事業」(2012年~2016年)に採択され た実績があり、グローバル人材の育成に力を入れて います。

全ての日本語授業には、常に数名の日本人学生が ボランティア参加しています。また、留学生と日本 人学生による国際交流チーム(交流の場の企画・運 営を行う)もあり、日本人学生との交流の機会が多 くあります。

\* 学生数·教員数(2022年5月1日現在)

学部学生数:5.120名 大学院生数:1.028名

教員数:798名

#### ② 国際交流の実績

学術交流協定校・機関数:96(31の国・地域)

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数 146人、日研生 1人 2021年: 留学生数 148人、日研生 3人 2020年: 留学生数 160人、日研生 1人

#### ④ 地域の特色

鳥取は、自然が豊かで静かな所で、勉学に取り 組むのにとてもよい環境です。海や山があり、新 鮮な食材(野菜・魚・肉)も豊富で、物価が安い ので生活しやすい地域です。地元の人は皆、親切 で温かいので、地域での交流の場にも参加しやす いです。また、大阪、京都などの有名な大都市に は、電車やバスで3時間程度で行けます。





鳥取大学正門

鳥取砂丘

#### 鳥取大学周辺へのアクセス方法

(※来日時に大学周辺の駅や空港からの出迎えサービスがあります)

#### (1) 東京から飛行機で到着する場合



#### (2) 関西国際空港から電車を利用する場合



#### ■研修・コースの概要

- ① 研修・コースの目的
- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- ② 研修・コースの特色

科目選択の自由度が高く、研修生の希望により、 「日本語」に重点を置いて学ぶことも「日本文化」 に重点を置いて学ぶこともできます。地域の行事に 参加できる機会が多く、地域社会をより深く理解す ることができます。

#### ③ 受入定員

8 名 (大使館推薦 6名、大学推薦 2名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・本国において、日本語・日本文化に関する教 育を行う学部・学科に在学する者
- ・積極的に日本の文化・社会を理解し、自らの 文化を発信しようとする姿勢を持つ者

#### ⑤ 達成目標

- 実践的な日本語力を習得すること
- 興味のあるテーマについて、研究計画を進め その成果を発信できるようになること

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

2023年10月上旬 ~ 2024年9月下旬 (2023年10月1日 ~ 2024年9月30日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール(※変更あり)

9月下旬:渡日(2022年は9月29日)

10月 開講式

新規留学生オリエンテーション



12月 留学生を囲む集い(学長主催)



1月 修了課題テーマ決定 2月 大山スキー研修 3月 京都研修旅行



#### 7月 留学生のためのゆかた着付け教室



8月 修了発表会 鳥取しゃんしゃん祭「一斉傘踊り」参加





#### 9月 閉講式

- \*その他
  - ・農作業体験(年に数回)
  - ・小・中・高校での交流会(随時)
  - ・地域の国際交流団体や学内の国際交流
  - ・サークルのイベント (随時)





9月下旬 帰国(2022年は9月29日、 30日)

#### ⑨ コースの修了要件

必修8科目、選択4科目以上の合計12科目以上を履修 し、かつ日本語・日本文化研修留学生修了課題(レポート)を完成した学生に対し、修了証を授与します。

大学推薦の学生には、全学共通科目及び学部専門科目について単位を付与しますので、在籍大学との単位 互換が可能です。単位が付与されない科目については 成績証明書を発行します。



#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

全学共通科目や学部専門科目、国際交流センターで 開設する科目の中から、研修生の興味関心に合わせて 自由に科目を選択することができます。

- 2) 研修・コース開設科目
- I)必須科目(8科目) <全学共通科目>
- ・日本語実践【、【【

大学生活で必要となるアカデミックスキルを、実践 を通して身につけます。

・日本語の表現技法 [、] [ 学習者同士で話し合いながら

学習者同士で話し合いながら、伝えたいことを口頭 や文章でより適切に表現する方法を学びます。

<目的別日本語コース>

・レポート演習I、II

様々なテーマについて、自分の意見を口頭や文章 で発表します。後半は、各自のテーマで研究を進め、 修了発表を行い、研究レポートを日本語で作成しま す。

・ケースで学ぶ異文化コミュニケーションI、II 異文化接触の事例を題材としてケース型教材を用いて、異文化理解と日本語コミュニケーションカの向上を目指します。

#### Ⅱ)選択科目(4科目以上) <全学共通科目>

- ·日本文化事情I、II
- · 日本社会事情 [、] [

幅広い観点からの講義や、自分たちで設定したテーマについて調査を行うことによって、日本の事情を深く理解することができます。

#### <総合日本語コース>

プレースメントテストでレベルを判断し、それぞれ のレベルに合わせて、総合的な日本語能力を身につけ ます。

#### <学部専門科目>

指導教員と相談し、地域学部の授業の中から、学生 に合ったものを選択します。

#### ※修了研究の内容

日本語・日本文化研修留学生修了課題(レポート)

- 3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る 科目及びその具体的な内容
- ·日本文化事情(全学共通科目)
- ·日本社会事情(全学共通科目)

いずれも、講義・ディスカッションと、見学や交流 を有機的に結びつけて授業を行います。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本語授業の全てに、日本人学生がサポート参加 しています。日本語・日本事情科目以外の全学共通科 目と学部専門科目は、全て共修です。全学共通科目 「グローバルイシュー」・「世界の中の日本」では、 地球規模の課題や、世界の中で日本がどのような位 置・役割にあるかなどを、日本人学生と共に英語で学 びます。

#### ① 指導体制

学生の興味のある分野に合わせて、地域学部の教員 が指導教員になります。

また、国際交流センターでも、研修生それぞれに担 当教員がつき、必要に応じて生活・教育支援を行いま す。

#### ■宿 舎

名 称: 鳥取大学国際交流会館

所在地: 〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110

電 話: 0857-28-4808

ホームページ:

https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/studentshousing-dormitory

構 造: 鉄筋コンクリート5階建て

部屋数: 1人部屋50室、2人部屋6室,、3人部屋3室

#### その他:

室内には、ベッド、机、椅子、エアコン、書棚、 洋服ダンス、シューズボックス、電気スタンド、電 気ポットがあります。共同設備として、キッチン、 シャワー室、洗濯室、ラウンジ、和室があります。 コンビニエンスストア、スーパーマーケットまで

徒歩15分です。





#### ■修了生へのフォローアップ

修了後は、メールやSNSなどを活用し、その後の キャリアパス(進学・就職)について等、相談に 応じます。

#### ■問合せ先

<担当部署>

鳥取大学 学生部国際交流課

住所:〒680-8550

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL:+81-857-31-5056(直通)

FAX: +81-857-31-6065

E-mail: kokuko-gaku@ml. adm. tottori-u. ac. jp

鳥取大学 地域学部教務係

住所:〒680-8551

鳥取市湖山町南4丁目101

TEL: +81-857-31-5077 (直通)

FAX: +81-857-31-5076

E-mail: reg-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp

<ウェブサイト>

鳥取大学国際交流センターホームページ

https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja

(留学生向けホームページ)

https://www.ciatu.tottori-

u. ac. jp/ja/international-students

鳥取大学ホームページ

http://www.tottori-u.ac.jp/



# 島根大学(島根県)

## 島根に根づく豊かな文化、四季折々の行事を通して日本が学べます

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

島根大学は法文学部、教育学部、人間科学部、 医学部、総合理工学部、生物資源科学部で構成され,2023年4月には材料エネルギー学科を新設する 中規模総合大学です(2022年5月1日現在 教員数 782名、学生数6106名)。

温かく人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数 教育が大学の特色の一つで、教員からは授業内外 で、きめ細かい指導を受けることができます。そ して、世界各国からの留学生や日本人学生と、活 発な交流が行えます。

#### ② 国際交流の実績(2022年5月1日現在)

27カ国103大学・機関と交流協定を結び、学生交流及び研究者交流を行っています。

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数206人、日研生3人 2021年: 留学生数198人、日研生0人 2020年: 留学生数209人、日研生3人

#### ④ 地域の特色

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた 自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光 都市にも指定されています。城下町として知られ 、古くから茶道や和菓子の文化が栄え周辺には神 社や仏閣、史跡、温泉が点在しています。 他県と比べ、在住する外国人が少ないことも、 留学生が島根で学ぶ利点となるでしょう。そのため地域の人々との交流の機会も多く、日本語、日本文化を学びたい人、学内外で日本人と積極的に 交流したい人にとっては絶好の場所です。治安もよく、冬には時々雪が降りますが、年間を通して 気候は穏やかで住みやすいといえます。



#### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修 日本事情・日本文化に関する研修を主とし補助的 な日本語に関する研修を行います。

#### ② 研修・コースの特色

少人数で行う必須の日本語・日本文化研修生向 けの授業により、受講生のレベルやニーズに応じ て柔軟に指導内容を検討し、きめ細かい指導を行 います。

#### ③ 受入定員

6名 (大使館推薦3名、大学推薦3名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・日本語能力試験 N2レベル程度以上の日本語能力があること。
- ・勉学を最優先として全力で取り組み、修了論文 を書き上げる力があること。
- ・学内外の日本人、留学生と良好な関係を築いたり、諸活動に参加する積極性、コミュニケーション能力、協調性があること。
- ・日研生としての自覚と、日本と母国の架け橋人 材となる意志を持つ人物であること。

#### ⑤ 達成目標

【古代出雲王陵の丘で花見会】

- 1) 日本語能力試験N2またはN1に合格できるレベルの日本語力を身につけること(来日中の受験を推奨、支援します)。
- 2) 自分自身の研究テーマを設定し、研究内容についてディスカッションでき、最終的に修了論文を書き上げること。

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間:2023年9月下旬~2024年8月下旬 (在籍期間:2023年10月1日~2024年8月31日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月~2024年8月





-016

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

(9月下旬:渡日(例:2022年は9月27日)

10月: オリエンテーション

松江大茶会、松江祭鼕行列 見学

11月: 八重垣神社 見学

12月: 茶道体験、生け花体験

1月: 正月料理実習

2月:着物体験4月:お花見会5月:田植え体験6月:月照寺 見学7月:学期末試験

8月: 水郷祭 (湖上花火大会)、修了式 8月下旬:帰国 (例:2022年は8月30日)

#### ⑨ コースの修了要件

・各コース、必須授業(⑩表中の〇)を含む、20 単位以上を履修すること。

・修了者に対し、修了証明書、成績証明書を発行する。



【日研生による手作りの手すき和紙(右)を 使った修了証書】

#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1)研修・コース科目の特徴

少人数で行うため、教員との関係が深く受講生 のレベルやニーズに応じて柔軟に指導内容を検討 し、きめ細かい指導を行います。地域の豊富な文 化的資源を活用する授業を行います。

- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必須科目

右の表の〇印が各コースの必須科目。

※は両コースに共通の必須科目。

**日本語総合A** • • 日本語論、日本文化に関する多様な文章(エッセー、新聞記事、講演録など)を目的に応じて読む。

日本語総合B・・日本の歴史を通史的に学び、各時代の社会的、文化的背景について理解し各時代の主要な文学作品を通じて日本語の変遷も知る。

日本語総合 C (特別演習)・・・地域に密着した伝統文化や神話、芸能、祭事、歴史的文化財などに関連する資料を生教材として、日本語および日本文化を学ぶ。

**日本語総合D(特別研究)**・・・各自がテーマを設定して個人研究を行い、ゼミ形式で指導を受け、 論文の書き方の基礎を学び、成果を発表する。

#### Ⅱ)選択科目

右の表の△印が各コースの選択科目。

**日本語A**・・作文クラス。論理的な文章を書くための表現、語彙を増やしながら、文章の構成や展開パターンを学ぶ。

**日本語B**・・読解クラス。語彙力、文法力を高めながら、速読や精読を通じて目的に応じた読み方ができるよう訓練を行う。

**日本語**C・・聴解、口頭表現クラス。発表のための調査、考察のスキルを養う。生の情報に接し、日本の社会に対する理解や知識も深める。

<u>日本語</u>D・・語彙、文法クラス。トピック別の重要語彙やコロケーションを集中的に学ぶ。また、学習者が誤りやすい文法や表現を復習しながら、正確に使えるようになるまで文法力を磨く。

		時間数 【単位数】		○必須 △選択	
	授業名		前期 <4月~ 9月>	日本語コース	日本 文化 コース
必	日本語総合A	30【1】	30【1】	0	0
2.	日本語総合B	30【1】	30【1】	0	0
須	日本語総合C	30【1】	ı	0	0
*	日本語総合D	-	60 [2]	0	0
	日本語A	30 [1]	30 [1]	0	Δ
	日本語B	30【1】	30【1】	0	Δ
	日本語C	30【1】	30【1】	0	Δ
選	日本語D	30【1】	30【1】	0	Δ
	日本事情A	30 [2]	30 [2]	Δ	0
択	日本事情B	30 [2]	30 [2]	Δ	Δ
	異文化理解 入門	30 [2]	_	Δ	0
	その他 専門に応じた 科目	各30	各30	Δ	0

コース修了要件:必須授業を含む20単位(600時間) 以上 の履修。 ※は全員必須科目。

3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容

**日本事情A**・・・日常生活の中に見る日本の文化について知識を深め、その背景にある日本人の考え方や、価値観について理解を深める。

例)八重垣神社、月照寺 見学

**日本事情B**・・・自然科学の視点から日本、島根県に対する理解を深めると同時に、伝統文化体験を行う。 例)座禅体験、茶道体験、日本庭園見学

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

**異文化理解入門**・・日本人学生との合同クラス。 異文化理解に関する様々なトピックにもとづいて 小グループでディスカッションを行ったり発表を 行ったりする。

#### ① 指導体制

日本語・日本事情担当教員ほか、学生の専門に応じて指導教員が、学業面の指導、生活面の支援を行います。



【宍道湖の夕日】



【着物体験】

#### ■宿 舎

大学から徒歩5分の場所に留学生用宿舎「国際交流会館」があります(単身用26室/夫婦用1室、単身用 月額5.900円 夫婦用 月額9.500円)。

宿舎には、優しく時に厳しい「お母さん」のような管理人が勤務し、日本人チューターも住んでいます。研修生は、各国からの留学生との1年間の生活を通して、友情を深めると同時に、異文化コミュニケーション能力も身につけることができます。



【居室】



#### ■修了生へのフォローアップ

日研生のFacebook同窓会グループを通じて近況 ニュースを流し、在学生と修了生が情報を交換し たり共有したりできるようにしています。

#### 修了後のキャリアパスの例:

- ・JETプログラムの国際交流員として県庁に勤務
- ・修了生母国の日本大使館に勤務
- ・母国にある日系企業に就職
- ・外国技能実習生の管理団体(東京)に就職
- 島根大学大学院に進学



生け花体験・正月花で】

#### ■問合せ先

<担当部署>

島根大学国際課留学生交流担当

TEL: +81-(0)852-32-6106 (直通)

FAX: +81-(0)852-32-6481

Email: ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp

<ウェブサイト**>** 

島根大学:

http://www.shimane-u.ac.jp



# 岡山大学(岡山県)

## 日本語能力の向上及び日本の文化、社会、経済、法律、教育などに 対する理解を深める

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

#### 1)特色と歴史

岡山大学は1949年に設立された国立大学ですが、 その前身は1922年設立の岡山医科大学、1900年設 立の第六高等学校などで、長い伝統があります。 設立後発展を重ね、2021年4月から工学部と環境理 工学部を再編統合して新しく生まれ変わった工学 部をはじめとし、現在では文学部、教育学部、法 学部, 経済学部, 理学部, 医学部, 歯学部, 薬学 部. 農学部の10学部と. 教育学研究科. 社会文化 科学研究科, 保健学研究科, 医歯薬学総合研究科, 自然科学研究科、環境生命科学研究科、ヘルスシ ステム統合科学研究科、法務研究科の8大学院を擁 する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひ とつです。本学に在籍している外国人留学生に対 しての日本語教育は、基幹教育センターが担当し、 生活面のサポートは国際部や受入部局が行ってい ます。

2) 教員 • 学生数等 (2022年5月1日現在)

教 員 数: 1.291名 学部学生:10.069名 大学院生: 2.988名



#### ② 国際交流の実績(2022年5月)

大学間交流協定数 182件 部局間交流協定数 212件

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

(各年5月1日現在)

2022年: 留学生数 793人

日本語・日本文化研修留学生 3人

2021年: 留学生数 774人

日本語·日本文化研修留学生 1人

2020年: 留学生数 760人

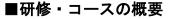
日本語・日本文化研修留学生 3人

#### ④ 地域の特色

岡山県は日本の西部にある中国地方に位置し、瀬戸内 海に面しています。水島工業地帯を抱え工業が盛んで あるとともに、農産物や水産物が豊かな県です。岡山 は温暖な気候で、地震や台風などの自然災害もほとん どなく、日本で最も安心・安全で住みやすい地域と言 われています。

岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で、こ の地方の政治、経済、教育、文化の中心地のひとつで す。岡山市の人口は約72万人です。

岡山市へは交通が大変便利です。新幹線を利用すれ ば、東京から3時間30分、新大阪から45分で岡山市に 着きます



本コースは次の3種類の授業からなる。

- ①さまざまなレベルやトピックを扱う日本語クラス
- ②日本の文化、経済、法律、教育に関する授業
- ③文学部、法学部、経済学部、教育学部の各学部 の日本人学生対象の講義

#### ① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

#### ② 研修・コースの特色

日研生は、文学部、教育学部、経済学部、法学 部のいずれかに所属し、指導教員の指導を受けます 。日本語の能力が特に高い学生は、日本人学生と一 緒に受講する教養教育科目や所属学部で専門科目の 授業に出席することができます。また、各自の研究 テーマに合った演習にも参加できます。

- ③ 受入定員 5名 (大使館推薦 3名, 大学推薦 2名)
- ④ 受講希望者の資格. 条件等 日本語能力試験のN2レベルの日本語(語彙6,000 語、基本漢字1,000字程度)を習得している者。

#### ⑤ 達成目標

アカデミックな日本語能力を養い、日本に関する 専門的な知識を深めること。

- ⑥ 研修期間 (在籍期間) 2023年10月1日~2024年8月下旬 (2023年10月1日~2024年8月31日)
- ⑦ 奨学金支給期間 2023年10月~2024年8月



#### ⑧ 研修・年間スケジュール・

第3-4学期

9月末頃 渡日

10月 新入生オリエンテーション

授業開始

11月 大学祭

2月 授業終了

第1-2学期

4月 授業開始

8月 授業終了

8月中旬 修了レポート提出

修了式

8月下旬 帰国

#### ⑨ コースの修了要件

各学期,選択科目を6単位以上取り,修了レポート を作成すること。修了時に修了証書を授与します。 また,必要がある場合は,成績証明書も発行します。

#### ⑪ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

授業は原則として、第1・第2・第3・第4学期 各8 週間開講されます(うち1週間は期末試験期間)。 学生は指導教員と相談の上、自分のレベルや興味に合った科目を履修できます。必修科目は設けていません。

#### 2) 研修・コース開設科目

#### 選択科目

プレースメントテストの結果に基づいて、日本語のクラスを決めます。日本語5は日本語能力試験N2程度、日本語6は日本語能力試験N1程度を目指す学生のためのコースです。応用日本語、あるいは文学部で開講されている上級コースは、既に日本語能力試験N1レベルに達している学生を対象としています。

#### ◇中/上級コース(教育推進機構日本語教育部門)

授業科目名	概要	時間/ 学期	単位/ 学期
日本語 5 (第1-4学期)	中級後期の総 合的なクラス	60	4
多読で学ぶ 日本語2 (第1-4学期)	多量の日本語 を読むクラス	15	1
映像で学ぶ 日本語2 (第1-4学期)	ドラマや映画 を通して日本 語を学ぶクラ ス	15	1
中級漢字· 語彙 (第1-4学期)	中級の漢字・ 語彙を学ぶク ラス	15	1
中級文法2 (第1-4学期)	中級後半の文 法を学ぶクラ ス	15	1
日本を知ろう (第1-2学期)	日本の文化や 社会について 学ぶクラス	15	1
岡山を知ろう (第3-4学期)	岡山について 調べながら日 本語を学ぶク ラス	15	1
メディア・ リテラシー2 (第3-4学期)	情報を批判的 に読み取るク ラス	15	1
日本語6 (第1-4学期)	上級前期の総合的なクラス	60	4
応用日本語 (書く・読む・ 聞く・話す) (第1-4学期)	上級の(書く・ 読む・聞く・話 す) 力を高め るクラス	各15	各1

#### ◇上級コース(文学部・法学部・経済学部)

授業科目名	概要	時間/ 学期	単位/ 学期
日本語 1a/b (第1-4学期)	日本語の小説 を読むクラス	15	1
日本語 2a/b (第2,4学期)	文法とリスニン グを学ぶクラス	15	1
日本文化学 a/b (第1,3学期)	日本文化に関 わるテーマに ついて討論す るクラス	15	1
日本語超級 (第4学期)	日本語を専門 的に研究しな がら, 学術的 な日本語を学 ぶ	15	1
日本経済 事情IA/ IB/IIA/IIB (第1-4学期)	日本の経済・ 社会について 学ぶクラス		l開講で ・2単位
日本法政 事情 II a/ II b (第2,3学期)	日本の法律や 政治について 学ぶクラス	15	1

#### 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る 科目及びその具体的な内容

授業科目名	概要	時間/ 学期	単位/ 学期
SDGsからみ る日本事情 (第1-4学期)	教育など学 域などデーマ とのテーマ 沿って、 か 文化を体 が ら ラス	15	1

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容 日本語の能力が特に高い学生は、上記科目以外に、 日本人学生と一緒に受講する教養教育科目や所属 学部で専門科目の受講が可能です。

#### ① 指導体制

日本語・日本文化研修留学生を受け入れる学部 において指導教員を決め、学業面の指導、生活 面の支援を行います。

#### コーディネーター

長野 真澄 (教育推進機構) 堤 良一 (文学部) 平田 仁胤 (教育学部) 廣田 陽子 (経済学部) 張 紅 (法学部)



#### ■宿 舎

日本語・日本文化研修留学生は、岡山大学外国人留学生・研究員宿泊施設に優先して入居することができます。

宿舎費は次のとおりです。宿舎費の他に、入寮費30,000円、光熱水道料金が必要です。宿舎費等の支払いは入居後となります。

#### 〇宿舎費 (単身用)

桑の木留学生宿舎: 月額 14,000円 ~ 16,000円

・国際学生シェアハウス:月額 23,000円・国際交流会館: 月額 27,000円・福居留学生宿舎: 月額 28,000円

- ※宿泊費等は改定する場合があります。
- ※宿泊施設は自分の居室も含め、全館禁煙です。
- ※配偶者が岡山県在住の場合は宿舎への入居は できません。

#### 〇宿舎設備・備品:

机, 椅子, ベッド, ユニットバス, トイレ, ミニキッチン, 冷蔵庫, 冷暖房機

〇宿舎周辺の生活情報・通学時間: キャンパスまで徒歩10~15分程度。 宿舎横にスーパー徒歩圏内にショッピングモール があります。

#### 桑の木留学生宿舎





#### 国際学生シェアハウス





#### ■修了生へのフォローアップ

2011年に岡山大学国際同窓会が設立され、毎年総会が開催されています。今後、更に海外での活動を充実させ、日研生を含め、本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

また、日研生修了生のうち、より深く専門分野を本 学で学びたい学生が本学に戻ってくるケースも増えて います。



#### ■問合せ先

#### <担当部署>

岡山大学国際部留学交流課

住所: 〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中2-1-1 TEL: +81-(0)86-251-7051 (直通)

FAX: +81-(0)86-252-5022

E-mail: dde7046@adm. okayama-u. ac. jp

<ウェブサイト>

岡山大学ホームページ

https://www.okayama-u.ac.jp/

岡山大学グローバル人材育成院・国際部

ホームページ

https://intl.okavama-u.ac.ip/



# 広島大学(広島県)

## • 充実した日本語日本事情

### •豊富な実地見学

#### ■大学紹介

#### ①大学の特色および概要

#### 1) 特色と歴史

1949年広島文理科大学、広島高等師範学校などを包括して設置された。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数の規模と学生数を誇る。12の学部と4の大学院があり、情報化、国際化、生涯学習及びもの大学院があり、情報化、国際化、生涯学習及びれている。学部・研究科(大学院)以外にも、高際で研究開発センター、平和センター、森戸国際音教育学院(以下、森戸学院)、原爆放射線医科学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。

さらに、教育学部は日本語教育系コースを持ち、 日本語教師や日本語教育学の専門家を目指す日本 人学生、留学生が勉学に励んでいる。

医学部、歯学部等を除く東広島市への統合移転が1995年度に完了し、市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ、静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。

 2)教員・学生数等 [2022.5.1現在] 教員 1,815名 学部学生 10,603名 大学院生 4,463名

#### **②国際交流の実績** [2022.5.1 現在]

大学間交流協定数 391協定 55ヵ国 347機関 留学生在籍数 1,638名(84ヵ国)

#### ③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化 研修留学生(日研生)の受入実績

	留学生数	日研生数
2022年	1,638名	1名
2021年	1,650名	1名
2020年	1, 750名	4名

#### ④ 地域の特色

広島市、東広島市が位置する県南部は、瀬戸内海に面し、 気候は温暖で、四季に恵まれ、海苔やカキの養殖が盛んであ る。また、北部の中国山地は神楽などの伝統芸能が盛んで、 「たたら(現在の製鉄所)」の遺跡も多い。

広島市は世界最初の被爆都市であるが、政令指定都市となった現在は、国際平和都市として市民グループの活動も活発で、平和や国際協力に関する留学生との国際交流活動に参加できる機会にも恵まれている。

東広島市は、広島市の東約30キロの盆地の中にあり、古くから酒どころとして有名である。現在は、広島大学、他の私立大学また国や多くの企業の研究施設も移転してきており、研究学園都市として急速に発展している。また、半導体、電気・電子機器等製造業の進出が近年盛んで、人口も急速に増えている。

#### ■研修・コースの概要

#### ①研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

#### ②研修・コースの特色

本プログラムは、必修の「日本語・日本文化特別研究」、指導教員のもとで行われる「課題研究」、およびそのレポートの作成、そして全学向けの「日本語・日本事情科目」から選択して履修する授業を3つの柱としている。

必修科目である「日本語・日本文化特別研究」では、森戸学院、また学内の教員の協力を得て1回完結の講義の中で日本語と日本文化、日本社会について知識を広めるとともに、広島市を始め、広島県内および中国地方、瀬戸内海周辺で実施する多くの見学を通じて、直接日本文化に接しながら日本の歴史、文化、風俗および平和の尊さについて学ぶ。

全学の留学生に開講されている「日本語・日本事情科目」の中上級レベルであるレベル4、上級レベルであるレベル5のクラスから、自身の日本語能力と興味・関心に応じて授業を選択する。

「課題研究」では、日本語学、日本語教育学、日本文化学などの専門家である指導教員の個別指導のもと、日本語・日本文化の分野で専門水準の研究を行う。また、自身の興味、専門に応じ、指導教員と相談したうえで、総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部等で開講されている日本人学生向けの授業を聴講することも可能である。

研修生には学生サポーターがつき、居住・大学生活に関する支援をおこなっている。さらに、学内の様々な国際交流イベントも紹介され、参加する機会がある。

さらに、森戸学院には数多くの日本映画とアニメのDVDソフトが用意されており、これらを活用した授業が行われているだけでなく、授業の一環として視聴を奨励している。

また、森戸学院では、各留学生が指導教員の個別 指導のもとに行った「課題研究」をまとめ、毎年、 研修レポート集として発行している。

> マスコットキャラクター 「ひろティー®」

5 -022

#### ③受入定員

20名 (大使館推薦 16名、大学推薦 4名)

#### ④受講希望者の資格、条件等

このコースを受講できる者は、文部科学省の規定に基づく大使館推薦による者の他、大学間協定、ないし部局間協定に基づく大学推薦の学生とし、以下の要件を満たす者とする。

- 1) 日本語能力:日本語能力試験N2以上の高い日本 語能力を有する者、あるいは有すると見なせる者。
- 2) 日本研究学習歴/専攻:日本語を2年以上学び、 日本語・日本文化を主専攻とする者。大学1年生は 対象としない。

#### ⑤達成目標

日本語・日本文化の分野で1年間、指導教員の個別指導のもと、卒業論文の水準の「課題研究」を行い、研修修了時に日本語レポートとしてまとめるとともに、研修成果発表会で発表を行う。これにより、テーマについての基礎的な知識、テーマ設定、研究構想等の基本的な研究遂行能力、原稿作成、口頭発表に必要な日本語能力を獲得する。

#### ⑥研修期間(在籍期間)

研修期間:2023年10月上旬~2024年9月上旬

(在籍期間:2023年10月1日~2024年9月30日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

10月上旬 渡日

開講式、オリエンテーション

3月下旬 瀬戸内海しまなみ研修旅行

(愛媛県松山市1泊2日)

4月下旬 研修レポート構想発表

7月中旬 研修レポート中間発表

7月下旬 古事記・風土記の旅

(島根県松江市・出雲市1泊2日)

9月上旬 修了式、研修成果発表会

9月下旬 帰国

#### ⑨ コースの修了要件

#### 1)必須科目

- ・「日本語・日本文化特別研究I・II」 前後期それぞれ週2コマ(4単位)
- ・「研修レポート(課題研究)」の提出 構想発表、中間発表、研修成果発表会9月実施への参加 を含む

#### 2)選択科目

森戸学院において、全学向けに開設されている日本語科目から 各自のレベルに応じ(レベル5の者はレベル5の科目から、レベル4の者はレベル4とレベル5の科目から)、前後期それぞれ3コマ(6単位)以上を選択、履修。

#### 3)修了証書

修了式において学長の署名が入った「修了証書」が授与 される。

4) 成績証明書

求めに応じて成績証明書を発行する。

#### ⑪ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

必修科目である「日本語・日本文化特別研究I・II」で行われる森戸学院、学内の教員による特別講義において、日本語・日本文化・日本事情に関する幅広い知識を身につけることができる。また、同科目で実施される見学により、地元、広島の産業、文化、戦国時代から日清、日露、第二次世界大戦を経て現在に至る歴史についての知識・理解を深め、さらには、しまなみ海道から愛媛県に及ぶ研修旅行、島根県の松江・出雲への研修旅行によって、広島を囲む瀬戸内圏、古事記・風土記から現代に至る歴史、文化的基層についての知識・理解を深めることで、広島から「日本」を知り、理解することを目指す。

また、森戸学院で提供される多くの日本語科目から、自分に合った授業を選択・履修することで、日本語能力を磨き、研究や仕事で使える日本語を身につける。

これらの必修科目、選択科目を履修することで身につける 知識、能力をベースに、指導教員の個別指導のもと、大学院 への進学、日本、日本語に関連する職業に就くことを見すえ、 卒業論文水準の「課題研究」を行う。

- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必須科目(コマ数、時間数)・内容 「日本語・日本文化特別研究I・II」 (前後期 各週2コマ、120時間)…特別講義、見学 「研修レポート(課題研究)」 指導教員による指導、レポートの提出

Ⅱ)選択科目(コマ数、時間数)・内容 レベル5(各週2コマ 各32時間)

1・3ターム

「日本語上級 分析A、B」…作文 「日本語上級 語彙A、B」…語彙 「ビジネス 日本語A、B」…ビジネス日本語

「論文作成法 A、B」…論文の書き方を学ぶ 2・4ターム

「日本語上級 映像A、B」…映像作品を視聴し 日本語を学ぶ

「日本語上級 聴解A、B」…聴解

レベル4 (各週2コマ 各32時間) 1・2ターム

「日本語 中上級 A-1、2」…文法、読解 「日本語 中上級 B-1、2」…語彙、聴解 3・4ターム

「日本語 中上級 C-1、2」…文法、読解 「日本語 中上級 D-1、2」…語彙、聴解





- 3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科 目及びその具体的な内容
- ・「日本語・日本文化特別研究 I・II」 広島見学(広島城・平和公園)、宮島見学、酒造見学 マツダ(自動車工場)見学、福山見学、尾道見学、 呉見学
- ・瀬戸内海しまなみ研修旅行(愛媛県松山市1泊2日)
- ・古事記・風土記の旅(島根県松江市、出雲市1泊2日)
- ・広島ホームステイ協会による、ホストファミリーの 紹介、交流イベント
- 煎茶実習
- 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容 この研修プログラムに日本人学生との共修授業は設 けていないが、日本人学部生を対象として開講される全 学教養科目や、文学部、教育学部などの専門科目の受講 を勧め、支援している。

#### ① 指導体制

- 1) プログラム実施委員 所属:森戸国際高等教育学院 石原淳也 准教授 (言語学・日本語音声学・音韻論)
- 2) 指導体制

森戸学院に所属する全ての教員および一部の教育学部、文学部、総合科学部教員が指導教員として本プログラムに参加し、学生の学業、生活両面にわたり指導・助言を行っている。

3) 助言・カウンセリング

留学生に対する助言・カウンセリング等は、以下の 場所で協力して行われている。

- ・保健管理センター
- ・所属学部の留学生専門教育教員(教育学部 配置学生のみ)

#### ■宿 舎

広島大学の留学生数の増加にともない、全ての者が 広島大学内の留学生用宿舎、東広島市内の公的宿舎へ入 居できるとは限らない。やむを得ず民間アパートに入居 しなければならない場合もある。 ・過去3年間の日研生の宿舎入居状況(各年度10月現在)

	国際交流 会館	サンスクエア 東広島	民間 アパート	計
2022年度	1	0	0	1
2021年度	1	0	0	1
2020年度	4	0	0	4

・広島大学の留学生用宿舎

「国際交流会館」: 広さ 13.3㎡、家賃 5,900円/月、 共通経費 2,500円/月、森戸学院まで徒歩20分・ 自転車7分

「広島大学留学生用借上宿舎」: 広さ 15㎡~17㎡ 家賃 8,000~18,000円/月、敷金 20,000円・その他

「サンスクエア東広島」: 広さ 17.46㎡、家賃 20,000 円/月、共益費 3,500円/月、シーツ代 6,000円、 敷金40,000円、森戸学院までバス15分・自転車25分、 留学生用の公的宿舎

「民間アパート」(平均的相場): 広さ 15㎡~17㎡、家賃25,000円~45,000円/月、共益費 1,000円~3,000円敷金 家賃の1~3ヶ月分、礼金 家賃の約1ヶ月分、斡旋料 家賃の約1ヶ月分

奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として、 10万円程度を用意しておくことが望ましい。

### ■修了生へのフォローアップ

- ・日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集 を修了生本人と所属(出身)大学へ送付
- ・修了生のレポートPDFを森戸学院ホームページにリポジトリ登録し、閲覧可能
- ・修了した研修プログラムの記録を森戸学院ホームページに保存し、閲覧可能
- ・研修プログラムの最新の動向を知らせるため修了 生をメーリングリストに登録

#### ■問合せ先

<担当部署>

広島大学森戸国際高等教育学院

住所:〒739-8524 広島県東広島市鏡山

1丁目1番1号 広島大学教育棟K305

TEL: +81-82-424-6286 (直通) FAX: +81-82-424-6286

E-mail: morito-office@hiroshima-u.ac.jp

<ウェブサイト>

〇広島大学森戸国際高等教育学院

https://www.hiroshima-

u.ac.jp/international\_center

〇 広島大学

https://www.hiroshima-u.ac.jp/









# 山口大学(山口県)

## 歴史のある美しい街、山口へ留学してみませんか

### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

#### 1)特色と歴史

山口大学は1815年、長州藩士・上田鳳陽によって創設された私塾・山口講堂を前身とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設された。

メイン・キャンパスは山口市(人口は192,198人(2022年10月1日現在))に位置している。 山口市は自然環境に恵まれた落ちついた都市で、多くの歴史的名勝・文化的景観が残されている。

2)教員・学生数等

• 教員数: 1,073 名(2022年5月現在)

・学生数:学部生 8,546 名 大学院生 1,473 名

(2022年5月現在)

#### ② 国際交流の実績

大学間交流協定校数:107校学部間交流協定校数:3校

復旦大学 淡江大学

イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学

(2022年5月現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数367人、日研生1人 2021年:留学生数359人、日研生0人 2020年:留学生数388人、日研生2人

(2022年5月現在)

#### ④ 地域の特色

山口県は、本州の西の端にあり、山口大学吉田キャンパスのある山口市は「西の京」とも呼ばれ、歴史と文化の薫り漂う県庁所在地です。吉田キャンパス近くにある「湯田温泉」は、約800年の歴史と山陽路随一の規模を持つ温泉街で、一日2000tという豊かな湧出量を誇り、地元客や観光客に人気です。このほか、県内には優れた温泉地がたくさんあります。

また、広島県、福岡県の間に位置し、どちらの都市にも新幹線で約40分で行くことができます。

#### ■研修・コースの概要

- ① 研修・コースの目的
- (b) 主に日本語能力の向上のための研修
- ② 研修・コースの特色
- ・コースには日本語能力の中級話者を対象にした日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。
- ・スピーキング、リーディング、ライティング 能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶ。

#### ③ 受入定員

2名 (大使館推薦1名、大学推薦1名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

このコースを受講する者は、日本国以外の大学学部(来日時点で主として第2学年次以上)に在籍する学生で、日本語・日本文化研修生として、以下の要件を満たす者とする。

#### (1) 日本語能力

日本語能力試験のN2ないしそれ以上の級に合格 している者、または同等の日本語能力を有する者。 一般的な事柄について会話ができ、基本的な文章 を読み書きできること。

- (2)日本研究学習歴、専攻
- ・日本語・日本文化に関する分野を専攻する者

#### ⑤ 達成目標

- ・日常的に使われる日本語の理解に加え、より幅 広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
- ・日本社会、日本文化に関する研究に活用できる 知識を身につける。

#### ⑥ 研修期間 (在籍期間)

2023年10月1日 ~ 2024年9月30日

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬:渡日

オリエンテーション

11月:留学生交流会

9月下旬:帰国

#### ⑨ コースの修了要件

本コースの必修科目(前期7科目、後期7科目)を全て履修し、各自の課題研究をまとめた論文を提出した者には、成績証明書を発行する。

#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

- 1) 研修・コース科目の特徴
- ・コースには日本語能力の中級話者を対象にした 日本語及び日本事情の授業科目が含まれる。
- ・スピーキング、リーディング、ライティング 能力を伸ばしながら、日本語の基礎を学ぶ。
- 2) 研修・コース開設科目
- I ) 必須科目

【日本語演習A】(前期30時間/後期30時間) 演習形式、使用言語:日本語

単語や文法の知識を基に、特に「聞く」「話す」能力を育成し、日常生活におけるより一層のコミュニケーション能力の向上を目指す。また、学習内容のトピックに関連した簡単な新聞記事も読めるようにする。

#### 【日本語演習 B】(前期30時間/後期30時間) 演習形式、使用言語:日本語

表現文型・文法を学び、日本語の運用能力を高める。特に助詞が正しく使えるようになることを目指す。また、その日のテーマに関連したディスカッションから書く練習へと発展させ、文章作成能力のレベルアップを図る。

#### 【日本語演習 C 】 (前期60時間/後期60時間) 演習形式、使用言語:日本語

いろいろなジャンルの新聞記事、エッセイ、小説などを読み、日本語の様々な文体に慣れる。楽しく読むことができ、かつ読めたという体験を持たせ、長文の速読速解能力の向上を目指す。

#### 【日本事情】(前期30時間)

講義形式、使用言語:日本語

日本の文化、習慣、教育、政治、経済など日本についての基本的な事項を各種のメディア (新聞、雑誌、テレビ、インターネット等)から取り上げ、講義し、その日のテーマについてディスカッションを行う。

#### 【異文化を学ぶ】(後期30時間)

講義形式、使用言語:日本語

日本文化に関する様々なテーマについて学習する(例:日本の漫画、アニメ、音楽、遊び、芸術、社会)。フィールドワーク作業、ビデオ教材等を含めることで、言葉では説明しにくいものを感覚的に理解出来るように配慮する。

#### Ⅱ)選択科目

さらなる勉学・研究のために、日本語の仕組み、 日英語の違い、日本の音楽、日本の歴史、日本の 工芸等の教育学部開講の授業に参加することがで きる。

留学生の日本語能力の向上の程度を勘案して、 日本語のドリル及び日本文化に関する補講を行う ことがある。

教育学部が開設する授業に加え、本学には共通 教育科目として、すべての学部に在籍する留学生 を対象にした日本語・日本事情関係の授業が開講 されている。日本語能力テストの結果に応じてこ れらの授業を履修することも可能である。

3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容

特筆すべきものはなし

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

特筆すべきものはなし

#### ① 指導体制

・責任教員 猫田 和明 (学生国際交流ワーキング座長)

学生の所属:教育学部

・指導教員:希望に合わせて専門分野の教員又は、

国際交流に関わる教員が指導を担当

する。

#### ■宿 舎

原則として、山口大学の敷地内にある留学生用宿 舎「国際交流会館」へ入居可能である。

※過去3年間の入居実績: 1名(2022年)

0名 (2021年) 2名 (2020年)

※留学生用宿舎の詳細については以下のURLを参照

(http://www.isc.yamaguchiu.ac.jp/01is/05dormitories.html)

#### ■修了生へのフォローアップ

修了生へのフォローアップについては、研修期間の指導状況に合わせ、指導教員が行う。

### ■問合せ先

<担当部署>

・山口大学教育学部学務係

住所:〒753-8513

山口県山口市吉田1677-1

TEL: 083-933-5307 FAX: 083-933-5468

E-mail: info-g@yamaguchi-u.ac. jp

担当教員:猫田 和明

(教授・学生国際交流ワーキング座長)

E-mail: nekoda@yamaguchi-u.ac.jp

<ウェブサイト> 山口大学ホームページ:

http://www.yamaguchi-u.ac.jp/

山口大学留学生センターホームページ:

http://www.isc.yamaguchi-u.ac.jp/



# 香川大学(香川県)

## 地域に根ざした学生中心の大学

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

#### 1) 概要

香川大学は1949年に設置されました。2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合され、新しい香川大学となりました。教育学部、法学部、経済学部、医学部、創造工学部および農学部の6つの学部を持つ総合大学です。修士課程は、創発科学研究科(教育学、法学、経済学、工学的分野を含む)、医学研究科、農学研究科を、博士課程は、医学系研究科、工学研究科、連合農学研究科を、また、専門職学位課程は、教育学研究科、地域マネジメント研究科を有しています。

学生数・教員数(2022年5月1日現在)

・学部学生数:5,664人・大学院学生数:757人

教員数:662人職員数:1,188人

(香川大学概要2022-2023より)





#### ② 国際交流の実績

2022年5月の時点で、63の大学や機関と大学間協定、 40の大学や機関と部局間協定を締結して、世界中 の大学と学術交流や学生交流を実施しています。 加えて、7団体との連携協力協定も締結して、複数 大学間での国際的な協力体制を築いています。 (香川大学概要2022-2023より)





国際シンポジウム (タイ)





学生交流プログラム(インドネシア)

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数153人、日研生4人(10月時点)

2021年:留学生数119人、日研生4人 2020年:留学生数151人、日研生1人

(日研生出身国:韓国、タイ、キューバ、メキシ

コ、ブラジル)

#### ④ 地域の特色

香川県は、四国の北東部に位置します。瀬戸内海 に面しており、四季を通じて降水量が少なく、温 暖な気候です。

香川県で最も有名なのは、おそらくうどんですが 、オリーブやうちわなども有名です。

皆さんが住む予定の高松市は、コンパクトシティーと言われています。日本一長い商店街のなかにたくさんの商店があり、自転車で行くことができる範囲でなんでも揃います。





商店街

小豆島のオリーブ

#### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

#### ② 研修・コースの特色

本コースは、日本文化、特に香川県に関する知識の習得、そしてそれらの知見を実践的に活用する能力の向上を目的としています。そのため、それに必要な日本語力の向上の機会も提供されます。

#### ③ 受入定員

5名 (大使館推薦3名、大学推薦2名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・JLPT:N2以上、または同等の日本語 能力を有すること。
- ・国費留学生として、各種交流活動や本学の国際化のための活動に積極的に参加すること。

#### ⑤ 達成目標

- ・N1または同等以上の日本語能力を習得する。
- ・日系人枠の受講者の場合は、N3または同等 以上の日本語能力を習得することを目指す。
- ・各種プレゼンテーションを含む、日本語の実 践的能力を向上させる。
- ・香川県に関するトピックを自ら選定し、レポートとしてまとめることができる。

#### ⑥ 研修期間 (在籍期間)

研修期間:2023年9月下旬 ~ 2024年8月下旬 (在籍期間:2023年10月1日~2024年8月31日)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

※日程は年度により変わります。

9月下旬:渡日

(2021年は10月10日 ※COVID-19のため)

10月 開講式、新入留学生ガイダンス、歓迎会

11月 大学祭、課外教育行事

12月 学長主催留学生交歓会、ホームビジット

1月 新年会

2月 日本のビジネスマナー講座

7月 日帰り島旅行

8月 修了式、さよならパーティー(秋期卒業生)

8月下旬:帰国

他にも交流や学習のためのイベントが行われます。



学長主催外国人留学生交歓会



地域の小学校を訪問

#### ⑨ コースの修了要件

本コースの修了要件は、授業の履修(⑩参照) および最終レポートです。最終レポートは、日本 (特に香川) や日本文化に関するテーマを選び、指導教員とよく相談しながら、論文の形に仕上げます。

これらの条件を満たした修了生には、修了証書を 発行します。履修登録した個々の授業に関しては 成績証明書が発行されます。

#### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1)研修・コース科目の特徴

日本語の基礎能力を向上しつつ、本人のレベルや 興味に応じた受講ができること。

受講する科目の数等については指導するが、科目 自体については自国の所属大学における専門ない し既習科目と関連する科目も受講可能であり、よ り深いレベルでの日本文化研修が可能となる。

- 2) 研修・コース開設科目
- I ) 必須科目

日本語 I c (15コマ、22.5時間)

・・・中上級レベルの作文

プロジェクトさぬき(8コマ・12時間)

・・・香川県の課題に関するプロジェクトワーク、日本人学生との共修

#### Ⅱ)選択科目

上記以外の日本語科目(15コマ、22.5時間)

・・・中上級〜超級の4技能(読む・書く・聞く・話す)

日本事情科目 (8コマ、12時間 または 15コマ、22.5時間)・・・日本の文化・ 社会・歴史・国際貢献などについて学ぶ

必修科目・選択科目を合わせて各学期週7科目以上を受講する。取得単位数は履修科目による。(1科目1単位または2単位)

3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容

基本的には、本学の場合はこの種の科目は学部における正規生が対象なので、本研修での参加は認められないが、授業以外に各種の地域交流を多数用意している。「⑧研修・年間スケジュール」を参照。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

上記2) I)の「プロジェクトさぬき」。 その他、選択した場合には日本語による共通科目 や専門科目。

#### ① 指導体制

学術的な指導は、指導教員により行われます。インターナショナルオフィスのロンリム・高水徹・ 塩井実香のいずれかが指導教員となります。

生活面での指導や支援は、インターナショナルオフィスが担当します。

また、学生によるサポート体制も整っており、サポーター、チューターがそれぞれ生活面と学習面で支援します。



企業見学会



課外教育行事 (五色台)

#### ■宿 舎 (2022年10月現在)

香川大学には、3つの留学生宿舎があります。 入居については本コースの申請時にお尋ねください。

留学生会館(屋島) (室料¥7,400/月)花園寮 (室料¥22,500/月)

・上之町国際寮 (室料 ¥24,500/月)

#### (ウェブサイト-香川大学留学生宿舎)

https://www.kagawau.ac.jp/files/8916/5655/9099/R4.10nyukyo\_bosyu \_zentai.pdf

#### 過去3年間の日研生の宿舎入居状況

 2022年度:留学生会館 2名、 花園寮 2名
 2021年度:留学生会館 4名

• 2020年度: (日研生0名)



留学生会館 (屋島)



屋島山上からの景色



宿舎での流しそうめん



屋島登山

#### ■修了生へのフォローアップ

本コースは1年で帰国することを前提としていますが、さらに本学の大学院進学等のため、各部局に問い合わせることが可能です。

また、いくつかの国や地域に関しては、すでに帰 国留学生ネットワークが形成されています。

その他、SNSを通した交流も行われておりますので、 下記のFacebook等をご参照ください。



#### ■問合せ先

<担当部署>

香川大学教育・学生支援部国際課

住所: 〒760-8521

香川県高松市幸町1-1 TEL: +81-87-832-1149 (直通) FAX: +81-87-832-1192

ΓΑΛ : +01-0/-032-1192 Γπο: | π.υ.σοίν: |σ@ko.σουιο |

Email: ryugaku-h@kagawa-u.ac.jp

<ウェブサイト>

香川大学

https://www.kagawa-u.ac.jp/

香川大学インターナショナルオフィス https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/

日研生向けページ

https://www.kagawa-

u. ac. jp/kuio/isc/study\_in\_kagawa/jss/

香川大学留学生センターFacebook https://www.facebook.com/KUISC



# 高知大学(高知県)

## 地域・国際社会に貢献しうる人材育成と学問・研究の充実・発展を推進

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

高知大学は、人文社会科学部、教育学部、理工学部、 医学部、農林海洋科学部及び地域協働学部の6つの 学部と、大学院総合人間自然科学研究科に人文社会 科学専攻、教育学専攻、理学専攻、医科学専攻、看 護学専攻、農林海洋科学専攻、地域協働学専攻の7 つの修士課程、応用自然科学専攻、医学専攻、黒潮 圏総合科学専攻の3つの博士課程、および教職実践 高度化専攻(教職大学院)を有し、特徴的な教育・研究を行っています。

キャンパスは、高知市の朝倉キャンパスと南国市の物部キャンパス及び岡豊キャンパスの3つがあり、日本語・日本文化研修留学生は、朝倉キャンパスに通います。

#### ② 国際交流の実績

大学間協定校-60機関(18か国・地域) 部局間協定校-33機関(20か国・地域) コンソーシアム協定-1(5機関、2か国) ※R4.5.1時点

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数79人、日研生1人 2021年: 留学生数86人、日研生1人 2020年: 留学生数108人、日研生0人

#### ④ 地域の特色

高知県は、西日本に位置する四国の南部にあります。 北は四国山脈がつらなり、南は太平洋に面しています。 年間を通じて暮らしやすい温暖な気候で、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。

地方文化にも恵まれています。自由民権運動発祥の地 として、近代日本の形成に大きな役割を果たした土地で もあります。

高知市街には美しい鏡川が流れ、市内随所に歴史的な 観光名所があります。

日本の主要都市からの所要時間は、空路を利用すれば 大阪空港まで45分、東京(羽田)空港まで1時間20分で す。そのほか、福岡、名古屋、神戸へも国内便がありま す。空路のほかにも、長距離バス、鉄道などが利用でき ます。

#### ■研修・コースの概要

- ① 研修・コースの目的
- b) 主に日本語能力の向上のための研修
- ② 研修・コースの特色

留学生科目として、「日本語」、「日本事情」の 科目を履修するとともに、専門科目に関しては、 「異文化理解」や「外国語としての日本語演習」 などを履修することができます。

また、基礎的な日本語力や日本文化などを広く学びたい留学生のためには、グローバル教育支援センターが開講している日本語総合コースの授業も 受講できます。

日本語の実践的な運用能力を習得するとともに、 専門授業を通して多文化共生力を養うことができ ます。

#### ③ 受入定員

2名 (大使館推薦1名、大学推薦1名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

1) 日本語能力

日本国際教育協会が実施する「日本語能力試験 (JLPT)」N1、N2保持者またはこれと同等の日本 語能力を有する者

※N2レベルの者は渡日後、グローバル教育支援セ ンター開講の日本語総合コース(単位不認定科 目)を受講すること

2) 日本研究学習歴・専攻

日本語・日本文化に関する分野の専攻者

#### ⑤ 達成目標

- ・日本語による討論と論文作成能力の習得
- ・母国では実施できない研究の遂行
- ・修了レポートを作成し報告会にて発表

#### ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間: 2023年10月上旬 ~ 2024年8月下旬 (在籍期間: 2023年10月1日 ~ 2024年8月31日) (修了式は2024年8月を予定)

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日

※2021年度はコロナ禍のため3月19日

10月 新入留学生オリエンテーション

11月 外国人留学生課外研修 黒潮祭 (文化祭)

1月 地域との交流活動

5月 地域との交流活動

6月 日本語講演会

8月 修了式

8月下旬 帰国 ※2021年度は8月30日

#### その他:

地域の国際交流団体などが主催する留学生向け各 **種イベントを紹介します(ホームステイ、着物着** 付け体験、紙すき体験など)。 地域住民と交流できるイベントにも参加できます。

#### ⑨ コースの修了要件

- ・必修科目14単位、選択科目を含め14単位以上を 取得する必要があります。
- 研究報告書作成並びに研究発表会修了時には、 「修了レポート」を提出し、指導教員の合格判定 を得なければなりません。
- 早期修了不可
- ・成績証明書の発行可

#### ① 研修・コース科目の概要・特色

日本語能力の向上を図るとともに日本事情・日本 文化に関する研修を行い、アカデミック日本語能 力の向上並びに日本文化に対する理解を深めます。 また、高知の地域文化に触れ、体験活動を通して、 日本語・日本文化研修留学生の目線から地域振興 にも貢献できる人材育成をめざします。

※単位認定について 学期(2学期制)毎に単位認定を行ってます。

1) 研修・コース科目の特徴

留学生は、必修科目に加え、個人の学習・研究 テーマに合わせて共通教育科目や学部専門科目か ら授業を選択することができます。

- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必須科目(9コマ)・内容 日本語Ⅱ (2コマ/调)・・・上級日本語 日本事情Ⅲ・・・日本の文化を学ぶ 異文化理解・・・日本人学生との共修 外国語としての日本語演習・・・

日本人学生との共修

日本語皿(2コマ/週)・・・上級日本語 日本事情Ⅳ・・・日本の文化を学ぶ 地域文化理解・・・地域の文化を学ぶ

Ⅱ) 選択科目(7コマ)・内容

日本語 I (2コマ/週)・・・上級日本語 日本事情 I・・・日本文化を学ぶ 日本事情Ⅱ・・・日本文化を学ぶ 日本語特別演習・・・日本語文法を学ぶ 外国語としての日本語・・・ 日本人学生との共修 外国語としての日本語基礎論・・・ 日本人学生との共修

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来 る科目及びその具体的な内容

必修科目の「地域文化理解」は体験型授業として 設定されており、地元住民との交流を通して地域 の文化を体験し理解するとともに、日本人学生と の共修の中で、地域課題・地域振興を考えられる 内容構成となっています。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内

必修科目の「異文化理解」、「外国語としての日 本語演習」、「地域文化理解」など、複数の科目 で日本人学生と共修します。いずれの科目も日本 人学生と共修することにより、異文化や地域文化、 日本語の仕組みなどをより幅広い視点で学べる内 容になっています。

#### ~グローバル教育支援センター開講科目~

グローバル教育支援センターでは、「日本語能力試験」N2程度の留学生に対する日本語総合コースの授業(単位不認定科目)を開講しています。日本語・日本文化研修留学生のうち、日本語能力が不十分で、日本語総合コースの受講を必要とする留学生は受講することができます。

グローバル教育支援センターによる日本語 総合コース(日本語補講)で開講している 科目は以下の通りです。

#### 【日本語総合コース授業科目】

中級聴解 I & Ⅱ (30時間×2)

中級会話 I & II (30時間×2)

中級漢字·語彙 I & Ⅱ (30時間×2)

中級読解(30時間)

中級作文(30時間)

コミュニケーション日本語 I & II (30時間 × 2)

高知文化事情(30時間)

ビジネス日本語(30時間)

#### ① 指導体制

コース責任教員:グローバル教育支援センター長

コース担当教員:グローバル教育支援センター教員

人文社会科学部教員

研修留学生指導教員:各研修留学生に担当の指導

教員が設けられ、必要に応 じて個別指導を行います。

#### ■宿 舎

朝倉キャンパスには、留学生専用宿舎がないため、 多くの留学生が民間アパートに入居しています。 家賃20,000円~45,000円のアパートに入居してい る留学生が多いです。

※初期費用として月額家賃の4か月分程度が必要です。

民間アパートに入居するには、多くの場合、連帯 保証人が必要です。連帯保証人が見つからないと きは保証会社を利用することとなります。

女性の方で寮を希望する場合は、単身用女子寮に 入居できることがあります。

#### 【単身用女子寮】

寮費:約7,500円/月

設備:机・椅子・ベッド・ロッカー・本棚・ 共同

自炊設備・共同バス・トイレ

場所:キャンパスから寮まで自転車で10分

キャンパス周辺は、食料品店や飲食店が多くあり、 生活に便利な場所です。

#### ■修了生へのフォローアップ

修了後もメールなどで連絡を取り合い、日本語・ 日本文化研修留学生が協定校出身者の場合は可能 であれば教員が協定校を訪問し、留学後の学習状 況について懇談を計画しています。

### ■問合せ先

<担当部署>

高知大学学務部国際教育支援室留学支援係

住所: 〒780-8520

高知県高知市曙町2-5-1

TEL: +81-88-844-8145 (直通)

FAX: +81-88-844-8718 Email: gi05@kochi-u.ac.jp

<ウェブサイト>

高知大学グローバル教育支援センター:

www.kochi-u.ac.jp/international/

高知大学:

www.kochi-u.ac.jp/



# 九州大学(福岡県)

## 充実した日本語クラス・豊富な実地見学・学部授業自由選択

#### ■大学紹介

#### ① 大学の特色及び概要

九州大学は、1911年に九州帝国大学として誕生して以来、約1世紀にわたって、多くの人材を世に送り出し、顕著な研究成果を社会に発信し続けている。現在、学生約19,000名、教員約2,100名、職員約2,300名が在籍し、12学部、18大学院、4附置研究所、病院などを擁する我が国有数の総合大学である。

2011年には創立百周年を迎え、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし、

「九大百年、躍進百大」, すなわち, すべての分野において世界のトップ百大学に躍進することを 行動計画として掲げている。

また、九州大学は、九州の玄関口、福岡に位置することから、地理的・歴史的にアジアに近く、 開学当初から「アジアに開かれた大学」を標榜している。

2018年10月に、九州大学の新たな中心となる新キャンパス(伊都キャンパス)への統合移転が完了しており、本コースも2015年10月から伊都キャンパスで実施している。

【学部】共創学部,文学部,教育学部,法学部, 経済学部,理学部,医学部,歯学部,薬学部,工 学部,芸術工学部,農学部

【大学院】人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境学府、法学府、法務学府(法科大学院)、経済学府、理学府、数理学府、システム生命科学府、医学系学府、歯学府、薬学府、工学府、芸術工学府、システム情報科学府、総合理工学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府

#### ② 国際交流の実績

【交流協定締結数】 (2022.5.1現在)

(学術交流協定)

大学間:150機関(36ヶ国・地域) 部局間:235機関(42ヶ国・地域)

〈学生交流協定(覚書)〉

大学間:140機関(34ヶ国・地域) 部局間:182機関(38ヶ国・地域)

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数2,361人(2022.5.1時点)

日研生4人(内, 私費留学生2人)

2021年: 留学生数2,261人(2021.5.1時点)

日研生7人(内, 私費留学生6人)

2020年:留学生数2,328人(2020.5.1時点)

日研生20人(内, 私費留学生18人)

#### ④ 地域の特色

九州大学がある福岡市は、九州の北部に位置し、 人口約160万人の商業・貿易都市であり、地理的

・歴史的に日本とアジア地域を結ぶ窓口としての機能を果たしている。

九州大学は、福岡市の中心地である博多からは電車やバスで約45分、天神からは約40分、福岡空港からは約50分とアクセスがよい。

また、隣接している糸島市は自然やレジャーに富み、週末は市民の人気スポットとなっている。

#### ■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助 的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

九州大学日本語・日本文化研修コースは、留学生 センターが開設するもので、日本語・日本文化研修 留学生が、今後の日本研究に必要となる日本語能力 の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する 理解を深めることを目的としている。

#### ② 研修・コースの特色

日本語・日本文化研修留学生は留学生センターに 所属し、留学生センターで開講する「日本語論」、 「日本社会文化論」及び「自主研究」の必修科目と

各自の日本研究に関する専攻分野と日本語能力に応じて、文学部、経済学部、法学部などで開講される日本の社会や文化に関する学部学生向けの授業を選択科目として受講することができる。

さらに、留学生センターで開講する技能別の日本 語の授業(総合、漢字、会話、作文)も受講することができる。

#### ③ 受入定員

30名(大使館推薦2名程度,大学推薦1名程度,他 私費留学生)

<授業風景>



### ④ 受講希望者の資格、条件等

本コースは、日本国以外の大学に在籍し、日本研究を主専攻としている学部学生(1年次生を除く)で、既に基礎的な日本語の学習を終え、本学において日本語で行われる日本の社会や文化に関する授業を受講できる日本語能力(日本語能力試験N1合格程度が望ましい)を有する者を対象とする。

### ⑤ 達成目標

本コースでは、上記④の資格、条件を満たす学生を11ヶ月間受け入れ、彼らの今後の日本研究に必要となる日本語能力の向上を図るとともに、日本の社会や文化に関する理解を深めることにより、諸外国の将来を担う世代に日本への興味・関心を伝播し、日本の事情に通じた指導者となる人材を育成することを目的としている。

# ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間:2023年10月上旬~2024年8月下旬 (在籍期間:2023年10月1日~2024年8月31日)

※2023年9月下旬にオリエンテーション実施

※閉講式は2024年8月上旬実施予定

※8月上旬授業終了後,8月末まで自主研修期間

※選択科目にて集中講義受講可能

# ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

# ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬:渡日

9月 オリエンテーション旅行

10月 開講式,秋学期開始

11月 地域住民との交流会,座禅体験

12月 長崎見学旅行

1 月 長崎被爆体験講話

2 月 秋学期終了

4月 春学期開始,日田見学旅行

5 月 吉野ケ里見学旅行

6 月 歌舞伎鑑賞,小学校訪問

8月 春学期授業終了,閉講式

自主研修期間(授業終了後から8月末

まで自主研修期間)

8月下旬 帰国

### ⑨ コースの修了要件

必修科目2単位(30時間),選択必修科目24単位 (360時間)及び選択科目4単位(60時間),合計30 単位(450時間)以上の修得を修了要件とし、本学 留学生センター委員会にて成績・修了認定を行う。 認定された成績の証明書を発行するほか、要件を満 たしたコース生には、修了証書を授与する。

### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 1) 研修・コース科目の特徴

本コースでは、「日本語論」及び「日本社会文化論」科目に加えて、留学生センターで開講する技能別・レベル別の日本語クラスを受講することができる。

### 2) 研修・コース開設科目

		授業科目	第1期 (10-3月)	第2期 (4-8月)
	必修 科目	自主研究		2単位 (30時間)
业	選択 必修 科目	日本語論	12単位 (180時間)	
		日本社会文化論	12単位 (180時間)	

# I ) 必須科目

【自主研究】: 文献講読または社会調査

# Ⅱ)選択必修科目

# 【日本語論】:

日本語学概論,日本語・日本文化概論,ドキュメンタリー番組で学ぶ日本語,日本社会と地域方言,ジグソー法で学ぶ身近な日本学

# 【日本社会文化論】:

ドラマで学ぶ日本の歴史, 4コマ漫画にみる日本, 日本映像文化論, 和菓子と日本人, 九州学, 音楽文 化にみる日本

# III)選択科目:

本学学部生対象開講科目から選択。主に、文学部、法学部、経済学部等の科目を履修。

### 3) 見学. 地域交流等の参加型科目

コースの教育活動の一環として、日本の文化や歴 史、自然に触れる見学旅行を実施するほか、自治体 や小学校訪問等を通じて地域交流を行う。



### 4) 日本人学生との共修の機会

選択科目として本学学部学生と同じ授業を履修する。履修科目は、多数の開講科目から、各自の日本研究に関する専攻分野に応じて選択する。

# 5) その他の科目等

学生たちの多様なニーズに応えるため、カリキュラムの一環として、報道関係者、日本文化研究者をゲストティーチャーに招き、講演会を行っている。今後は、企業経営者等福岡県内にて活躍するさまざまな方へ依頼することも計画している。

また、各自の日本語能カレベル及び技能に応じて、 留学生センターで開講する以下の日本語クラスを履 修することができる。

Level	Integrated Courses	Kanji	Speaking	Writing
Beginners	I1	K2		
Elementary I	12	~	S2	
Elementary II	13	K3	S3	
Pre-Intermediate	14	K4	S4	
Intermediate I	15	K5	S5	W5
Intermediate II	16	K6	S6	W6
Pre-Advanced	17	K7	S7	W7
Advanced	18	K8	S8	W8

### ① 指導体制

日本語・日本文化研修留学生には、留学生セン ターコース・コーディネーターが各自の学業面等 について個別指導にあたる。

さらに, 生活面や異文化適応に関しては, 留学 生指導に関する専門の教員が適宜対応する。

加えて、学生レベルでのサポート体制として、本学学生によるチューターを1名ずつ配置し、日常生活や修学上のサポートを行うとともに、日本人学生との交流が図れるような環境を整えている。



<スタディトリップ>



<スタディトリップ>

# ■宿 舎

日本語・日本文化研修留学生は、コース期間中、 留学生用宿舎に入居できる。

宿舎は、バス、トイレ、机、書棚、ベッド、収納棚、冷蔵庫、エアコン備付、インターネット接続可能(別途申込要)。



<ドミトリーI 及びII > ※伊都キャンパスの留学生・日本人混住宿舎



**くスタディトリップ>** 

# ■修了生へのフォローアップ

九州大学日本語・日本文化研修コースは、本学の英語による短期留学プログラムであるJTW (Japan in Today's World) とともに、日本語による短期留学プログラムとして国内外で高い評価を得ている。また、本コース修了者の満足度は高く、その多くが在籍大学卒業後、再び本学や日本の大学院に進学したり、日本企業に就職する等している。



# <閉講式>

# ■問合せ先

<担当部署>

九州大学国際部留学課受入戦略係

住所 〒819-0395

福岡県福岡市西区元岡744

TEL +81-92-802-2291 (直通)

FAX +81-92-802-2287

E-mail: intlr-isc@jimu.kyushu-u.ac.jp

<ウェブサイト> 日研生ホームページ

http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/

九州大学留学生センターホームページ https://isc.kyushu-u.ac.jp/center/

九州大学ホームページ

http://www.kyushu-u.ac.jp/



# 福岡教育大学(福岡県)

•7つの附属学校園との交流や、人文・社会科学、自然科学、音楽、美術、 書道、体育等の科目受講を通じて日本文化を福岡で学びませんか

# ■大学紹介

# ① 大学の特色及び概要

本学は、九州で唯一の教員養成単科大学で、教育 学・心理学・特別支援教育・各教科教育学の外、 人文・社会・自然・芸術・スポーツ科学・家政学等、 教科内容に関する多様な専門学術分野の教員を擁す る大学です。

〇学生・教員現員(2022年5月1日現在)

学生 学部レベル 2579人 大学院レベル 111人

教員

### ② 国際交流の実績

外国人留学生数 7人(3カ国)

 国際交流協定校 8校

# ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年: 留学生数 7人/日研生2人 2021年: 留学生数 8人/日研生2人

2020年: 留学生数12人/日研生1人(各年度5月現在)





163人

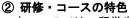
# ④ 地域の特色

大学が所在する宗像市は、福岡市と北九州市のほ ぼ中間に位置し、豊かな自然環境に囲まれ、大陸と の交流窓口として発展してきました。

また2017年、宗像市の「神宿る島」として 沖ノ島を初めとした関連遺産群が世界遺産に認定さ れ、貴重な歴史遺産に接することができます。

# ■研修・コースの概要

- ① 研修・コースの目的
- a) 主に日本事情・日本 文化に関する研修



本コースでは、留学生

対象の授業を履修するとともに、指導教員のもと で専門分野の学修を行うことで、日本語と日本文 化に関する総合的な研修を受けることができます。

日本語教育レベルは、JEES(日本国際教育支援 協会)の日本語能力試験「N2レベル」程度である。 学期始めの日本語プレテストにより、留学生担当 教員において各人の能力に応じたクラス (初級 I、 初級Ⅱ、初中級と漢字クラス、中級(聴く・話 す)、中級(読む・書く)、上級、(個別指導) を判定し、「推奨授業一覧」として通知します。

# ③ 受入定員

10名 (大使館推薦5名、大学推薦5名)

# ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・原籍大学で、日本語や日本文化に関する領域を 専攻していること。
- ・日本語能力試験(JLPT)でN2以上であること。

# ⑤ 達成目標

留学期間を通して、日本の文化や教育制度に対 する理解を深め、研究結果の発表をします。

# ⑥ 研修期間(在籍期間)

2023年10月上旬 ~ 2024年9月下旬 (2023年10月1日 ~ 2024年9月30日)

# ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

# ⑧ 研修・年間スケジュール

10月上旬 渡日

10月 留学生オリエンテーション 後期授業開始

- 12月 市民との文化交流会(地域の日本文化 体験イベントについて、参加した留学 生が発表する) 日本理解特別プログラム(体験型研修)
- 2月 後期留学生研究発表会
- 4月 留学生オリエンテーション 前期授業開始
- 6月 地域の歴史・文化体験
- 7月 日本理解特別プログラム(体験型研修)
- 8月 前期留学生研究発表会
- 9月 コース修了認定
- 9月下旬 帰国

### (※感染症対策などで変更の場合もあります。)



附属中学校での交流会の様子

### ⑨ コースの修了要件

コース修了時に最終レポートを提出、研究発表を行います。このレポート及び履修科目、ホームルーム出席状況等について、指導教員・留学生担当教員による総合的評価をもとに、コース修了証の授与を受けることができます。(早期修了も可能)

### 〇必須要件

- ホームルームへの参加
- ・留学生対象授業・日本語科目への参加
- ・コース修了時の研究発表

### 〇単位取得 (成績) 証明書

履修する全科目(「日本語補講」を除く)に ついて発行可能。「日本語補講」については単位 認定は行いませんが、受講証明書発行は可能で す。

### ⑪ 研修・コース科目の概要・特色

1)研修・コース科目の特徴

授業は、留学生向けのものだけでなく、空いている時間に日本人向けの授業を受講することもできます。

また、本学は地元の宗像市との地域交流が盛んであり、例えば「お月見会」「着付け体験」といった日本文化に触れることができる行事があります。地域の小中学生に自国の文化を紹介する講師として参加することもできます。

すべての日研生には、学生チューターが配置され、一緒に勉強したり、留学生活に関する相談を したりすることができます。



着付け体験の様子

- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必須科目(各15コマ・30時間)・内容
- 〇「比較教育文化論A」

文化、習慣の違いからくるトラブル事例を学ぶ 〇「異文化交流の心理学」

テーマを設定し、議論により異文化理解を学ぶ

- 〇「日本語」(テストによりクラス分け)
- 〇「日本語補講」 (テストによりクラス分け)
- ○「留学生ホームルーム」 留学生、留学生担当教員で様々なテーマについ て議論する

【※以下は必須科目ですが選ぶことができます】
□「日本事情A・B」

日本と母国の文化や社会について相互的に学ぶ □「日本の教育制度A・B」

現代日本の教育制度について基礎的概要を学ぶ □「比較教育文化論B」

文化、習慣の違いからくるトラブル事例を学ぶ □「多文化間心理学」

テーマを設定し、議論により多文化理解を学ぶ 【※最終レポートは研修期間に完成させる】

●最終レポート及び研究発表

留学生活で調べた研究テーマについてレポート を作成し、研究発表会で発表します

- Ⅱ)選択科目(各15コマ・30時間)・内容 学部開設科目(授業担当教員に相談すること)
- 3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容
- ・日本理解特別プログラム(体験型研修)

日本の文化や教育制度などについて、体験的に 学ぶことを目的としています。例えば、日本や宗 像地域の文化・歴史学習を行うため、博物館見学 や体験活動、研修旅行に行くこともあります。



弓道体験の様子



研修旅行の様子

- 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容
- ・「日本事情A・B」

日本の文化、社会についてのテーマを掘り下げていくために、日本の学生との話し合い、見学、インタビュー等様々な方法で周囲の意見を取り入れ、日本についての認識を深め、それによって自分自身の持つ文化的特徴をも把握していくことを目標とします。

・「異文化交流の心理学」「多文化間心理学」 前期・後期ともに、日本学生との合同授業であ る。毎回、あるテーマ(食べ物、自分の将来な ど)やトラブルの事例をめぐって留学生と日本人 学生とが小グループディスカッションを行い、 出会い体験をします。

また、留学生自らも母国についてのレクチャーを行います。留学や移民などの異文化接触に伴う 心理的過程や育児文化等についても学びます。

### ⑪指導体制

- ・指導教員:専門分野に関わる指導、研究発表および最終レポート作成の指導、学修や日本生活に関わる相談
- ・留学生担当教員:留学生対象必修科目・選択科目の授業担当、授業分野に関わる指導、「日本理解特別プログラム」の実施・運営、「ホームルーム」の実施・運営、学修や日本生活に関わる相談

# ■宿 舎

- 福岡教育大学学生寮
- ・大学近辺の民間アパート等に入居可能です。 ※いずれも、渡日後に手続きを行います。

# ■修了生へのフォローアップ

・修了・帰国後、当該修了生から相談のある 場合は、個別に対応しています。

# ■問合せ先

< 担当部署>

福岡教育大学連携推進課

住所: 〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1

TEL: +81-940-35-1556(直通)

FAX: +81-940-35-1700

Email: ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp

<ウェブサイト> 福岡教育大学:

https://www.fukuoka-edu.ac.ip



# 佐賀大学 (佐賀県)

# アジアの中の日本、世界の中の日本、地域から見える日本を学ぶ

# ■大学紹介

# ① 大学の特色及び概要

佐賀大学は、自然と共生するための人類の「知」 の創造と継承に努めています。佐賀地域独自の研 究を世界へ発信しています。そして、アジアの知 的拠点を目指し、国際社会に貢献しています。

# <学 部>

- 教育学部
- ・芸術地域デザイン学部
- 経済学部、
- 医学部、
- 理工学部、
- 農学学部

学部生数 5.716名

### <大学院>

- 学校教育学研究科
- ・地域デザイン研究科
- 医学系研究科
- 先進健康科学研究科
- 理工学研究科
- 工学系研究科
- 農学研究科

大学院生数 782名



# ② 国際交流の実績

世界各国・地域の101大学と交流協定を結んでいます。現在、本学には109名の留学生が在籍しています。2009年度から2022年度までに大使館推薦の日本語・日本文化研修生をベトナム2名、リトアニア、スウェーデン、アルメニア、ベルギー、インド、ブラジル、セルビア共和国、トルクメニスタン各1名、大学推薦の日本語・日本文化研修留学生カンボジア2名、ラオス1名、リトアニア2名、ベトナム3名を受け入れています。

# ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数109人、日研生1人 2021年:留学生数122人、日研生1人 2020年:留学生数183人、日研生1人

# ④ 地域の特色

佐賀大学のある佐賀県は、九州の北西部に位置し自然が美しく、歴史が豊かなところです。メ 物語 かなところです。メ 物語 かなところです。メ 物語 が ます。佐賀市にあります。佐賀市はです。気候は温開のです。気候は温開のです。気候は温開のです。有には、満開のきまながです。を見ることができまながきまない。冬にで交があります。冬にで交があります。とに交があります。とに交がでいるな交流でもまりに有名で、インターナントに参加で、インターナントに参加で、大変やいろいるな交流でもまりに有名で、カールにと変やいろいるな変流でもまりに有名で、内のあちことでの焼き物の産地があります。や「ゾンビランドサガ」や「ユーリ!!! on ICE」の舞台となった場所があります。

# ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

# ② 研修・コースの特色

佐賀大学は、学生と先生のコミュニケーションが活発な大学です。本コースは、佐賀の美しい自然や心温かい人々といっしょに、日本社会や文化への理解を深め、日本人学生と交流しながら日本語の能力を伸ばすことができるコースです。

### <日本語>

本コースでは、研修生のレベルに合った日本語科目を履修できます。レベルにもよりますが、最大で1週間に4~5時間程度の日本語の授業を受けることができます。

# <日本文化・日本事情・専門科目>

留学生のための「日本事情」科目があります。また、「インターフェース異文化交流」科目では、日本人の学生といっしょに、議論をしたり、見学に行ったりします。これらの授業によって、研修生は、より深く日本を理解し、日本語の実践的な能力を身につけることができます。また、研修生の興味や専門に応じた科目を受講することができます。

# <修了研究>

指導教員や国際交流推進センターの教員の指導のもと、自分の興味のあることについて調査をしてレポート作成を行うことができます。今までの日研生が書いたレポートは、国際交流推進センターのウェブサイトで見ることができます。

#### <学生生活>

大学主催の留学生と日本人学生のための催しや、 学生主催のパーティーが多く行われています。佐 賀大学の学生と交流する機会がたくさんあります。 また、地域の小・中・高校や文化教室の講師など をしている学生もいます。

### ③ 受入定員

14名 (大使館推薦7名、大学推薦7名)

### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・主専攻や副専攻で日本語・日本文化など 日本に関することを学んでいる
- ・中級(日本語能力試験 JLPT N2合格)以上の 日本語能力
- ・佐賀大学の学生や佐賀の人と積極的に交流できる

### ⑤ 達成目標

- ・日本文化や日本事情、日本語について幅広い 知識を身につける。
- ・日本社会に親しむ。
- ・自国で専門研究するための基礎能力を養う。
- ・研修生の帰国後のキャリア選択に役立つ実践 的な日本語運用能力を身につける。

# ⑥ 研修期間(在籍期間)

研修期間:2023年10月上旬~2024年8月下旬 (在籍期間:2023年10月1日~2024年8月31日) 秋学期:2023年10月1日~2024年3月31日 春学期:2024年4月1日~2025年8月31日

# ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

静かで歴史豊かな 佐賀の生活ば 体験してみんしゃい



### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日 10月 開講式

オリエンテーション

新入留学生ウェルカムパーティー

11月 佐賀インターナショナルバルーン

フェスタ 唐津くんち

12月 冬休み 2月上旬 定期試験 2月中旬~ 春休み

4月春学期開始5月有田陶器市

ガタリンピック

8月上旬 定期試験 8月 夏休み

> 栄の国祭り 修了式

フェアウェルパーティー

8月下旬 帰国



有田陶器市見学



呼子大綱引き参加

### ⑨ コースの修了要件

日本語コースから秋学期・春学期合わせて2単位以上、インターフェース科目から2単位以上、その他、佐賀大学の授業の中から14単位以上が修了のために必要です。コースの修了者に対し修了証明書と成績証明書を発行します。修了レポートの作成は、修了要件に入りませんが、できるだけ作成することを勧めています。

## ① 研修・コース科目の概要・特色

1)研修・コース科目の特徴

研修生は自分の日本語レベルに合った日本語授業 を履修するとともに、異文化交流をテーマにした 科目や、基本教養に関わる科目、一部の専門科目 を日本人といっしょに履修します。

### 2) 研修・コース開設科目

科目名	単位数と時間数
日本語科目	2単位(30時間)以上
インターフェース 科目	2単位(30時間)以上
その他佐賀大学が 開講する科目	14単位(210時間)以上

表の中の3つの種類の科目から、それぞれ決まった科目数を履修しなければなりません。それぞれの種類の中でどの授業を取るかは、コーディネータや指導教員と相談します。「その他佐賀大学が開講する科目」の中にも、「日本事情」科目など留学生対象の科目があります。

- ・履修科目を決めるときは、指導教員やコーディ ネータと相談してください。
- ・今までの研修生は、日本語や日本文学、言語学、 日本の建築、教育などに関する授業を受講しま した。
- 「日本語コース」のレベルは、プレースメント テストの結果で決まります。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容

「インターフェース異文化交流」科目では、日本 人学生との交流や地域への貢献を授業の中心的な 活動に設定しています。短期留学生といっしょに 受講する「日本事情研修」科目では、地域の歴 史・文化・産業を知るために学外見学をしたり、 文化体験を行ったりします(「日本事情研修」は 英語で行われるので、受講を希望する場合は基礎 的な英語力が必要です)。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

「インターフェース異文化交流」科目は、日本人と留学生がいっしょに学習する科目です。日本人と議論したり、課題を解決したりしながら、異文化への理解を深めます。また、佐賀大学では、アクティブラーニングを取り入れている科目がたくさんあるので、授業を通して日本人学生と交流する機会があります。

# ① 指導体制

1) 指導教員

研修生の専門に応じて指導教員が選ばれ、学習に ついて相談します。

- 2) コースコーディネーター 国際交流推進センター講師 吉川 達
- 3) 研修生の日本での生活に関しては、佐賀大学のの保健管理センターと連携(れんけい)をとりながら、国際交流推進センターの教職員が対応しています。
- 4) 研修生には、学生チューターが1名ずつつきます。学生チューターは、日常生活や勉強のお手伝い、日本人学生との交流のお手伝いをしてくれます。

# ■宿 舎

これまでの研修生は、民間のアパートに住んでいます。台所、お風呂、トイレ、エアコンが付いていて、一か月の家賃は、約2万5千円~3万円円す。佐賀大学が紹介しているアパートは、家具が付いているところが多いです。家具が付いているところが多いです。家具が付いているととができます。最初の月は、敷金とよりませて2か月分の家賃を払わなければなりません。最初に必要なお金はだいたい5~7万円です。おなみに、今までの研修生は冷蔵庫、洗濯機とによるよどの留学生は佐賀大学のそばのアパートにほとんどの留学生は佐賀大学のそばのアパートにほんでいて、大学まで自転車で5分ぐらいで来られます。

# ■修了生へのフォローアップ

佐賀大学に留学した研修生は、佐賀大学で学んだことを生かして、母国の日系企業で働いたり、日本の大学院に進学したりしています。日研生として佐賀大学に留学している間に、自分の専門に合う佐賀大学の先生に連絡をして、大学院への進学相談をしている学生もいます。

修了した研修生は、SNSやメール、国際交流推進センターのホームページを通じて、佐賀大学やコーディネータといつでも連絡することができます。

佐賀大学の学部を卒業した留学生は、県内外の企業に就職したり、母国で就職したり、また、佐賀大学や他大学の大学院に進学しています。有名な企業で働いている卒業生もいます。



# ■問合せ先

<担当部署>

佐賀大学学務部教務課留学生交流室

住所: 〒840-8502

佐賀県佐賀市本庄町 1 番地 +81-952-28-8169(直通)

TEL +81-952-28-8169(直: FAX +81-952-28-8819

E-mail ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

<ウェブサイト>

佐賀大学国際交流推進センター

https://www.irdc.saga-u.ac.jp/ja/

佐賀大学ホームページ

https://www.saga-u.ac.jp/

日研生ホームページ

https://www.irdc.saga-

u. ac. jp/ja/foreignstudent/jresearch/









# 長崎大学(長崎県)

# 研修目的(a)(b)のどちらにも対応できるようになっている。

# ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

長崎大学は、多文化社会学部、教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、情報データ科学部、工学部、環境科学部、水産学部を持つ総合大学であり、7つの大学院(多文化社会学研究科、教育学研究科、経済学研究科、工学研究科、水産・環境科学総合研究科、医歯薬学総合研究科、熱帯医学・グローバルヘルス研究科)と2つの研究所(熱帯医学・グローバルヘルス研究科)と2つの研究所(熱帯医学研究所、原爆後障害医療研究所)プラネタリーヘルス学環を有する教員数約1,244人、学生数約9,080人の国立大学法人である。

長崎大学は、長崎に根付く伝統的な文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献することを理念としている。



### ② 国際交流の実績

長崎大学は海外の262の大学と交流協定を締結しており、2022年5月1日現在481名の留学生が、それぞれの所属する学部、研究科等の組織の中で勉学、研究に励んでいる。また、留学生教育・支援センターには協定校の日本語・日本文化専攻の学生を対象とした2つのプログラム(定員合計65名)がある。



# ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数481人、日研生3人 2021年:留学生数422人、日研生1人 2020年:留学生数473人、日研生0人

※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響によ

り来日できず受入れなし。

# ④ 地域の特色

本学がある長崎市は九州の西端に位置し、青く澄んだ海と緑豊かな山々に囲まれ、気候も温暖な都市である。長崎港は、200年間に及ぶ日本の鎖国時代にあってもアジア、西欧との交易のために日本で唯一開かれていた。長崎市民はこのような国際交流の伝統を受け継いで開放的で人情味豊かであり、留学生にも非常に好意的である。

# ■研修・コースの概要

## ① 研修・コースの目的

a)主に日本事情・日本文化に関する研修 日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助 的に日本語能力の向上のために研修を行うもの。

b)主に日本語能力の向上のための研修 日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的 に日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

# ② 研修・コースの特色

長崎大学では日研生の留学目的(a)(b)のどちらにも対応できるように配慮している。本学の3つの学部

(多文化社会学部、教育学部、経済学部)のうちから日研生の学業目標達成を最も効率的に支援できる学部に所属し、当該分野の指導教員の履修指導に基づいて日研生の希望に沿った科目等を履修するとともに、留学生教育・支援センター日本語担当の教員の指導の下、日研生の日本語能力に応じた日本語・日本研究科目も履修できる教育カリキュラム体制を準備している。

# ③ 受入定員

8名 (大使館推薦6名、大学推薦2名)

# ④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験のN2以上に合格している者、 もしくは、それと同等以上の日本語能力のある者。 (1年次在籍者を除く。)



### ⑤ 達成目標

- 1) 日本語能力試験N1に合格、あるいは、合格 相当の日本語能力を修得する。
- (2) 講義や演習を通して日本文化の理解を深める とともに、興味のあるテーマについての研究 成果を得る。

### ⑥ 研修期間 (在籍期間)

研修期間: 2023年10月1日 ~ 2024年8月31日 在籍期間: 2023年10月1日 ~ 2024年8月31日

### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬:渡日

10月: 後期履修オリエンテーション、

後期授業開始

雲仙・島原バス旅行

11月: 平和学習バスハイク

長崎大学学園祭

12月: 外国人留学生の集い

2月: 後期授業終了

4月: 前期履修オリエンテーション、

前期授業開始

8月: 前期授業終了

8月下旬:帰国

※新型コロナウイルスの影響により渡日日程や年間スケジュールが変更となる場合あり。

# ⑨ コースの修了要件

日本語プレースメントテストの結果に応じて配置される留学生教育・支援センター提供の日本語科目、教養教育科目、所属学部の専門科目の中から、前・後期合わせて14コマ(1コマ90分)以上を履修し、合格した者には修了証書を発行する。

### ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1)研修・コース科目の特徴

本コースには必修科目、選択科目の区別がなく、 日本語レベルに応じた日本語科目と学生の関心の あるテーマに関係した専門科目を選択できるよう になっている。具体的には、所属した学部の専門 科目と教養教育科目が履修可能である。また、留 学生教育・支援センターの日本語科目は学生のレ ベルにあった科目を履修できる日本語レベルが上 級の場合は、日本語科目とともに「日本探究」も 履修できる。

- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必須科目 無し
- Ⅱ)選択科目
- (A) 日本語科目(中級~上級)-選択

中級Ⅱ会話 前期及び後期 90分授業15回 中級Ⅱ詩解 前期及び後期 90分授業30回 中級 Ⅱ 作文 前期及び後期 90分授業15回 中級Ⅱ聴解 前期及び後期 90分授業15回 中級Ⅱ漢字 前期及び後期 90分授業15回 上級I読解 前期及び後期 90分授業30回 上級 I 総合 前期及び後期 90分授業30回 上級Ⅱ総合A 後期 90分授業30回 上級 II 総合B 後期 90分授業30回 上級Ⅱ総合C 前期 90分授業30回 上級Ⅱ総合D 前期 90分授業30回 日本語上級 II b 後期 90分授業30回 日本語上級Ⅱa 前期 90分授業30回 日本事情 後期 90分授業15回

#### 日本語上級レベル学生対象科目ー選択

日本探究:文化について考える 後期 日本探究:文学で学ぶ日本文化 後期 日本探究:現代日本社会の諸相 前期 日本探究:メディアで学ぶ日本の文化 前期

(注)授業は、留学生とともに受講する。

- (B) 専門科目 選択 それぞれの専門に応じて、選択受講する。
  - 学部開講の科目
  - (例) 日本を知る、アジア理解への扉、 国語学概論、国語学史、近代文学、 国際関係論、国際協力論、 地域を越えるマネジメント、紛争と平和
  - ・教養教育の科目

2021年度に開講された科目を

https://www.nagasaki-

u. ac. jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/r03syllabus/index. html で見ることができます。履修の参考にしてください。

- (注)上記科目は学部学生(日本人学生及び 留学生)とともに受講する。
- (注) 日本語科目については、留学生教育・支援 センターのプレースメントテストを受け、そ の結果に基づいてセンターの担当教員と相談 の上、 履修科目を決定する。専門科目、教 養教育科目については、所属学部の指導教員 と相談の上、履修科目を決定する。



3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容

授業科目ではないが、地域の見学や地域交流等 に参加できるものとしては以下のものがある。

### ・平和学習バスハイク

長崎県下の新規渡日留学生を参加対象とした終日のイベント。被爆者による講和を聞く機会を設け、平和公園、原爆資料館、長崎歴史文化博物館を回るなど、平和について学習する。

### ・雲仙・島原バス旅行

長崎の雲仙、小浜、島原の特色ある自然や歴史 遺産等の見学を中心に、その地域の食に関わる体 験学習も行う。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

研修目的が (a) であっても (b)であっても、学 部所属となるので、専門科目については当然日本 人学生との共修となる。指導教員のセミナーにも 参加できる。

また、教養教育自由選択科目も日本人学生との共修となる。



### ① 指導体制

研修生の関心分野により、教育学部・多文化社会学部・経済学部の3学部から所属学部を決め、指導教員を定める。指導教員は各人の専門分野(関心のあるテーマ)について適宜、個別指導を行う。また、留学生教育・支援センターにおいても日研生担当教員が、日本語プレースメントテストの結果に基づき履修可能な科目を選定し、履修ガイダンスを行うとともに、日本語の学習について指導する。

# ■宿 舎

長崎大学には、国際交流会館(西町本館・A棟・B棟)、坂本分館、国際学寮ホルテンシア(A棟・B棟)の留学生用宿舎が設置されている。但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。その場合は、民間アパートを借りる。留学生向けの居室数等は、右記のとおりである。

(2021年4月1日現在)

### 宿舎数

・単身室 76室・2人シェア 12室・4人シェア 117室

宿舎費(1人あたり/半期)

- · 単身室 ¥96,000 ¥114,000 ¥180,000
- ・2人シェア ¥120.000
- ・4人シェア ¥162.000

※2021年4月時点の金額です。今後変更になる可能性があります。

# ○ 宿舎設備・備品

エアコン・ベッド・机・椅子・洋服ダンス・電気スタンド・冷蔵庫・シャワー・トイレ・ 洗濯室(共用/専有)・補食室(共用/専有)



## 〇 宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館および国際学寮ホルテンシアは、文教キャンパス(メインキャンパス)から徒歩で15分程度の距離に位置している。閑静な住宅街に立地し、付近には公務員宿舎も併設されている。国際交流会館坂本分館は本学附属病院の敷地内に設置されており、医学部及び歯学部へは徒歩で数分の距離にある。付近には商店街があり、生活必需品等がいつでも購入できる。文教キャンパスまでは、路面電車を利用して20分程度である。

# ■修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メールやSNS等でいつでも応じる体制を取っている。



# ■問合せ先

<担当部署>

長崎大学学生支援部留学支援課

住所: 〒852-8521

長崎県長崎市文教町1-14

TEL: +81-95-819-2209 (直通)

FAX: +81-95-819-2125

Email: rvugaku shien@ml. Nagasaki-u. ac. ip

くウェブサイト>

長崎大学留学生教育・支援センター:

https://www.liaison.nagasaki-u.ac.jp/

長崎大学:

http://www.nagasaki-u.ac.jp



# 熊本大学 (熊本県)

# 緑豊かな歴史あるキャンパスで、日本人学生と共に学ぼう!

# ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

熊本大学は、旧制第五高等学校(「五高」) を母体とする伝統のある国立の総合大学で有り、 現在、7学部・8大学院1研究科に、約10,000人の学 生及び約2,700人の教職員がいます。

また、2014年には、文部科学省から、スーパー グローバル大学創成支援事業の対象校に選ばれて おり、現在までにたくさんの卒業生が世界および 各界で活躍しています。

熊本大学黒髪北キャンパス内に、重要文化財である五高記念館があります。100年前にかの有名な小説家であり英文学者でもある夏目漱石が五高の教壇にたちました。

本学は、地方中核都市に位置する国立大学として、地域との連携等を強め、また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、 国際交流の担い手の育成を目指しています。



五高記念館(正面)

### ② 国際交流の実績

2022年9月1日現在

・大学間交流協定校:134機関42か国/地域 ・部局間交流協定校:144機関40か国/地域 ・その他:4機関1か国/地域

合計:282機関53か国/地域

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数413人、日研生1人 2021年:留学生数374人、日研生1人 2020年:留学生数462人、日研生2人

# ④ 地域の特色

熊本市は、九州の中央に位置する人口約74万人の 緑豊かな地方都市です。熊本地震にも耐え抜いた 熊本城のある市の中心部からは路面電車が走り、 行政機関、商業施設、レジャー施設等がそろって いる大変便利なコンパクト都市でもあるため、学 生にとっては大変生活しやすい環境です。

また、九州各方面への鉄道の拠点となる熊本駅があり、東京へは飛行機で1時間半、大阪や京都へは新幹線で3時間のため、日帰りによる移動も可能です。

# ■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

以下の、(a)(b)両方を対象とします。

- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- b) 主に日本語能力の向上のための研修

### ② 研修・コースの特色

【日本事情・日本文化研究コース】 日本事情・日本文化に関わる研修を主とし、補助 的に日本語能力の向上のための研修を行うもの

# 【日本語能力向上コース】

日本語能力のための研修を主とし、補助的に日本 事情・日本文化に関する研修を行うもの

所属学部の指導教員による丁寧な指導のほか、研 究科目については、学部の日本人学生と共学でき ます。

# ③ 受入定員

10名 (大使館推薦9名、大学推薦1名)



黒髪キャンパス

## ④ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化を専攻し、自国の大学で少なくとも2年間日本語を学習していること。本学のレベルK6(日本語能力試験N2合格レベル相当)以上日本語・日本文化を専攻しない場合でも受入は可。ただし、日本人学生と共学するために日本語レベルは本学のレベルK6(日本語能力試験N2合格レベル相当)以上であること。

### ⑤ 達成目標

【日本事情・日本文化研究コース】

日本語能力を高めるとともに、日本を対象とした 研究を行う上で必要となる知識、技能を身につける

【日本語能力向上コース】

日本語能力を高め、社会で役立つ日本語・日本文化の知識を身につける

### ⑥ 研修期間 (在籍期間)

研修期間:2023年9月中旬 ~ 2024年8月31日 (在籍期間:2023年10月1日~2024年8月31日)

### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

# ⑧ 研修・年間スケジュール

(2023年度予定)

9月中旬: 渡日、履修ガイダンス等

10月 開講式、

新入学オリエンテーション

12月~1月 冬季休暇

1月~2月 定期試験

2月中旬~3月 春季休暇

4月 新学期開始

7月~8月 定期試験、修了レポート等提出 帰国オリエンテーション

8月中旬 閉講式、

8月下旬 帰国、修了レポート等提出

### ⑨ コースの修了要件

【日本事情・日本文化研究コース】

1年間に24単位以上を取得し、口頭試問の合格及び修了レポートを提出すること。

日本語科目※ 6単位 研究科目を各科目分野から合わせて 8単位 自由選択科目 10単位以上

合計単位 24単位以上

【日本語能力向上コース】

1年間に24単位以上を取得し、指導教員が認めた日本語による学習成果物を提出すること。

日本語科目※ 12単位 研究科目を各科目分野から合わせて 4単位 自由選択科目 8単位以上

合計単位 24単位以上

※日本語科目は1学期毎に7単位までの履修制限があります。

上記2コースとも各修了要件を満たした場合のみ、 修了証書を発行します。修了証書(1部)と成績証 明書(英文2部)はプログラム修了時期(10月中 旬)に各学生の原籍大学へ送付します。

# ⑪ 研修・コース科目の概要・特色

1)研修・コース科目の特徴

日研生には、日本人学生と共学の研究科目が準備されています。

2) 研修・コース開設科目

I )必須科目

【日本事情・日本文化研究コース】 日本語・・・・・・・・6単位 研究科目各分野合計・・・8単位 ※科目は、学内での日本語テスト、ガイダンスや 指導教員のアドバイスを受け、履修する。

【日本語能力向上コース】

日本語・・・・・・・・12単位 研究科目各分野合計・・・・ 4単位

※科目は、学内のシステムを利用した日本語科目 のガイダンス等や指導教員のアドバイスを受け、 履修する。 Ⅱ)選択科目

【日本事情・日本文化研究コース】 日本語科目と研究科目各分野から・・10単位以上

【日本語能力向上コース】

日本語科目と研究科目各分野から・・8単位以上

日本語科目 2021年度例

中上級文法 I:日本語能力試験N1レベルの文法項目について、その意味・接続・用法・使用制限などを解説し、その後、練習問題を解いて、定着を図る。

### 研究科目 2021年度例

i. 日本語研究科目

日本語学演習 II: 現代日本語の類義語の意味分析を行う。・・・等

ii. 日本社会研究科目

教職入門:教師とは・子どもと発達・教師をと りまくものについて学ぶ。・・・等

iii. 日本文学研究科目

日本語日本文学入門:日本語と日本文学を研究することの意義と方法について概説する。・・等iv.日本文化研究科目

日本史概説Ⅰ:日本列島の時代史・・・等

3)研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容

2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、プログラム対象科目はほとんどが対面の授業となりました。

また、留学生は学内で案内・開催されるイベント へ参加することができます。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な 内容

研究科目は全て、文学部・教育学部・法学部及び教養教育で開講されている科目です。それらの授業では、日本人学生と共に教養教育科目および専門科目を学ぶことができます。



龍南健児像

# ① 指導体制

指導教員 各学生に1名※

学生は、学部等に所属し、教員は学生の専門に合わせてレポートの個別指導を行います。担当教員は学生の入学前に決定します。

学生チューター 各学生に1名※

新入留学生には、本学の先輩学生が1名チューターを渡日から6か月間つけることができます。担当チューターは学生の入学前に決定します。

※他の学生と重複することがあります。

プログラム・日本語クラスコーディネーター 本プログラムの履修や日本語クラスについて、サ ポートします。

担当コーディネーター:ムイマンズ 命

# ■宿 舎

キャンパスから東に1.5kmほどのところに、留学生のための寮「熊本大学国際交流会館」があります。200人以上の留学生や研究者が住むことが可能です。寮から大学までは自転車で10分くらいです。

<部屋タイプ> 単身室

<設備> キッチン・シャワー・トイレ・ クローゼット・エアコン・ベッド・ 冷蔵庫・IHクッキングヒーター・机・ いす・電話機(受信専用)等

<寄宿料> 月額 17,000円

(水道・光熱費を含まない)

- \*料金は、変更になる場合があります。
- \* その他、入居時に預託金、 退去時に清掃費・ 鍵交換費が 必要です。

ふとんリース:約10,000円/年 インターネット:別契約



国際交流会館

# ■修了生へのフォローアップ

<修了後の進路例>

- ・大学院(母国・日本)進学
- ・日本企業勤務・日本語翻訳者



黒髮南地区

# ■問合せ先

<担当部署>

熊本大学国際部国際教育課

住所: 〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1

TEL: +81-96-342-2103/2138 (直通)

FAX: +81-96-342-2130

Email: gji-ryugakux@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<ウェブサイト>

熊本大学多言語文化総合教育センター:

http://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/

熊本大学:

http://www.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学 日本語・日本文化研修プログラム:

http://www.kumamoto-

u. ac. jp/kokusaikouryuu/gaikokujinryuugakusei/ kyouikuprogram/japanese\_studies\_program



# 大分大学(大分県)

# 歴史豊かな大分の地で、日本研究の進歩に貢献しよう!

# ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

教育学部、経済学部、医学部、理工学部、福祉 健康科学部、5大学院(教育学、経済学、医学系、 工学、福祉健康科学研究科)からなり、2022年5月 現在、学部生4,778人、大学院生584人が学ぶ国立 大学です。

木々の緑に囲まれたキャンパスで「創造性や人間性に富む人材の育成」、「国際社会の平和と発展への貢献」、「人類の福祉と文化の創造」を理念とした教育が実践されており、少人数制の教育の下、教員やスタッフと親密な関係が築け、日本人学生との交流も活発に行うことができます。

# ② 国際交流の実績

本学は、2022年5月現在26の国と地域の84大学と 学生交流協定を結んでおり、114人の留学生が学ん でいます。

本学の日研生プログラムは2004年から始まり、 毎年日研生を受け入れてきました。このプログラム以外にも、協定校からの短期留学生を対象とした交換プログラムがあり、アメリカ、ヨーロッパ、 オーストラリア、中国、韓国などから、毎学期約 60人の交換留学生が学んでいます

# ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数 87人,日研生2人 2021年:留学生数114人,日研生3人 2020年:留学生数114人,日研生2人

# ④ 地域の特色

知っていましたか?大分県の人口10万人当たり に占める**留学生の数は2022年度現在、日本で2番目** 

# と、大分県は多くの留学生を受け入れています。

大分県は九州東部に位置し、県庁所在地の大分市は人口約48万人の地方都市ですが、東京や大阪などの大都市に比べて物価が安く、人々も親切で、留学生には生活しやすいところです。別府や湯布院など、全国的に有名な温泉地があり、近年はアジアからの観光客がたくさん訪れています。年間の平均気温は約17℃と温暖で過ごしやすく、四季折々の自然の美しさを堪能することができます。

また、自然だけでなく**歴史的にも魅力**が多く、 戦国大名の大友宗麟が治めていた時代(16世紀)の 大分市は日本を代表する国際都市でした。時代を 遡ると、11世紀から12世紀にかけて彫られた臼杵 の石仏、8世紀に建立された宇佐神宮(いずれも国 宝)など大分県内には留学期間中に訪れるべき名所 旧跡がたくさんあります。

# ■研修・コースの概要

# ① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

# ② 研修・コースの特色

タスクは、日本語・日本文化に関わるテーマを 一つ選び、指導教員の指導の下、調査・研究の仕 方、日本語での論文の書き方を学びながら、11カ 月かけて論文を書き上げることです。指導教員、 チューター、日研生がチームを組んで論文指導は 行われますので、安心して論文を書き上げること ができます。

また、この論文作成と並行して、中級(レベル 4)から上級までの日本語科目、ならびに、日本事 情科目の中から自らのレベル・目的に合った科目 を選択し、日本語の更なる習得も行います。

### ③ 受入定員

5名 (大使館推薦 2名, 大学推薦 3名)

### ④ 受講希望者の資格、条件等

- 1) 日本語検定試験N2またはそれ以上を取得している者が望ましい。
- 2) 外国(日本以外)の大学で、日本語・日本文化に関する分野を専攻としている者。日本語・日本文化に関する分野を専攻していない場合は、日本語・日本文化に強い関心を持つ者。
- 3) 来日時点で日本語を300時間程度学習していること。
- 4) 日本語が母語でないこと。
- 5) 日本語で日常会話ができること。
- 6) 自分の得意な研究分野の日本語論文を辞書を使って読む能力を有していること。
- 7) 400字の長さの日本語エッセイを辞書を使って 30 分程度で書ける能力を有していること。
- 8) 日本語・日本文化をテーマに調査・研究を自主的に行う意欲があること。

# ⑤ 達成目標

- 1) 学術的目標
- ・論文の書き方を習得し、自ら専門の分野の論文 を 実際に執筆する。
- ・学術論文の書き方では、具体的には下記を学ぶ
  - > 序論・本論・結論の論理的繋がりの 理解
  - ▶ 理論構築とデータ収集のバランスの とり方
  - 参考文献の提示の仕方
  - ▶ テクスト内引用の方法

### 2) 日本語運用上の目標

- ・対人関係・場に配慮した、大人の日本語が理解 でき、話せるようになる。
- ・大学の教養課程レベルで要求される日本語能力 (レポート作成および発表)が身につく。具体 的には、授業内容がわかり、レポートが書け、 授業での発表ができるようになる。
- ・地域交流に必要な日本語が理解でき、話せるようになる。

# ⑥ 研修期間 (在籍期間)

2023年9月下旬 ~ 2024年8月下旬 (2023年9月29日 ~ 2024年8月30日)

# ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年8月

### ⑧ 年間行事・年間スケジュール

9月 下旬 渡日

開講式、オリエンテーション、プレイスメントテスト

10月 新留学生歓迎会

チューターとの研修旅行

11月 大学祭・地域開放イベント 日本語スピーチコンテスト・留学生フォーラム

12月 国際文化祭

GAIAセミナー

2月~3月 春休み

4月 健康診断

5月 消防訓練

6月 狂言ワークショップ

7月 七夕祭 (大分大学) ななせ火群 (ほむら) 祭り 留学生送別会

8月 大分市七夕祭

修了式

8月下旬 帰国

# ⑨ コースの修了要件

- ・通年で14科目以上を受講し、26単位以上取得すること。
- ・「日本研究!」(後期)と「日本研究!!」(前期)は必ず受講し単位取得すること。

※コースの修了者には、修了証書および成績証明書を発行します。

# ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 1) 研修・コース科目の特徴

本学の特徴は、大分の魅力を発見できるさまざまな科目を用意してます。2)に説明する必須・選択科目の中から、1週間に7科目以上受講する必要があります。それぞれの科目は、1週間に1コマ(90分)の開講で、日研生はコース修了時までに少なくとも315時間の日本語・日本文化の研修を受けることになります。

### 2) 研修・コース開設科目

#### I )必須科目

・日本研究 I、II(修了研究:1コマ、通年45時): 「日本研究I」(後期)と「日本研究II」(前期)は修了研究として、どちらも必ず取らなければなりません。指導教員の指導の下、日本語・日本文化に関するテーマを一つ選び、調査・研究を行い、その成果を論文として「日本研究II」で提出し、国際教育推進センター年報で発表します。

・日本語・日本事情科目(表1参照):日本語科目にはプレースメントテストで受講するレベルが判定されます。日本語科目には、中級と上級の各レベルに、読解や作文など目的別の科目があり毎学期最低3科目(3コマ、通年で135時間)受講しなければなりません。

# Ⅱ)選択科目

- ・グローバル科目:下の4)を参照してください。 ・教養・専門科目:各学部の日本人学生のための 科目です。
- 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目及びその具体的な内容
- ・表2をご覧ください。

# 4) 日本人学生との共修等の機会

グローバル科目(表2参照)は国際人養成のための科目で、日本人学生と一緒に学びます。「ソーシャルネットワークと大分からの発信II」「狂言で大分を学ぶ」「シティープロジェクト:大分と別府」「日本語学I」などがあります。

# 表1. 中級から上級までの日本語・日本事情 科目(一部抜粋)

科目名	JLPTレベル
日本語4文法 I	N2
日本語4文法Ⅱ	N2
日本語4スピーキング	N2
日本語4読解 I	N2
日本語4読解Ⅱ	N2
日本語4作文 I	N2
日本語4作文Ⅱ	N2
日本語4応用 I	N2
日本語4応用 Ⅱ	N2
多読で学ぶ日本語	N2
日本語5文法 I	N1
日本語5文法Ⅱ	N1
日本語5スピーキング	N1
日本語5読解·作文 I	N1
日本語5読解・作文Ⅱ	N1
日本研究 I	
日本研究Ⅱ	

### 表2. グローバル科目(一部抜粋)

科目名	内容	JLPT レベル
ソーシャル ネットワーク と大分からの 発信 II	大分地域の環境 保護・過疎の状 況を知る	N1 (日英語 で授業)
サステナビリ ティ大分 I, II	持続可能な未来 とは何かを 考える	N1 (日英語 で授業)
シティープロ ジェクト : 大 分と別府	大分市・別府市 の街並みを観察 し、町おこしを 考える	N1 (日英語 で授業)
日本文法と ディスコース	システミック言 語学の視点から 日本語を分析し、 テクスト分析の 基礎を学ぶ	N1 (日英語 で授業)
日本語学Ⅰ	日本語の音声、 語彙、方言、 文法などを 学ぶ	N1
ビジネスジャ パニーズ演習 1, 2, 3, 4	就職対策、及び、 ビジネスに関す る情報収集法 などを学ぶ	N1
狂言で大分を 学ぶ	伝統芸能を演じ ることで大分を 知る	N1 (日英語 で授業)

注:濃い字体の科目は見学・地域交流をする参加 型科目です。

### ① 指導体制

プログラムの責任教員は、国際教育推進センターの南里敬三(なんり けいぞう)、西島順子(にしじま よりこ)です。個別研究指導はセンター教員が行いますが、並行して指導教員から指導を受けたチューター(本学正規生)による学習支援も受けることができます。

個別指導の専門分野は「日本語教育」、「日本語教授法」、「外国語教育論」、「応用言語学(CALL・動機・第2言語習得研究)」、「大分学(歴史・言語)」、「ジェンダー・スタディーズ」、「中間言語語用論」、「日本文学(主に近代・現代)」、「大衆文化研究」、「比較文化・文学理論研究」、「イデオロギーと談話構造の研究」、「システミック言語学」などです。

# ■宿 舎

日本人学生が生活する学生寮に入居するため日本語漬けの生活を送ることができます。詳細は表3をご覧ください。

# 表3. 学生寮の部屋代・設備など

部屋代(月額)	27,000円 または 22,000円 (全室一人部屋)
設備	机、椅子、ベッド(寝具なし)、 クローゼット、ユニットバストイレ、 ミニキッチン(冷蔵庫、IHクッキン グヒータ)、エアコン
部屋代以 外の費用	<ul> <li>・維持管理一時金 26,400円(入居時)</li> <li>・水道料 2,000円/月</li> <li>・電気は個別契約</li> <li>・インターネット料 2,037円/月(全員加入)</li> </ul>

# ■修了生へのフォローアップ

日研生プログラム修了生は、プログ、フェイスブック、スカイプ等のソーシャルメディア・プラットフォーム及び電子メールなどを通じて、修了後の更なる学術的指導、及び、進路相談が受けられます。また、フェイスブックを通して他の修了生との情報交換も行え、大分大学及び大分地域の最新情報も入手が可能です。

# ■問合せ先

<担当部署>

大分大学学生支援部学生 · 留学生支援課

住所: 〒870-1192

大分県大分市旦野原700番地

TEL: +81-97-554-7444(直通)

FAX: +81-97-554-7437 Email: ryugaku@oita-u.ac.jp

くウェブサイト>

大分大学国際教育推進センター:

https://www.gaia.oita-u.ac.jp/

大分大学:

https://www.oita-u.ac.jp/

日研生について:

 $\label{eq:https://www.gaia.oita-u.ac.jp/academic/kokuhi/} https://www.gaia.oita-u.ac.jp/academic/kokuhi/$ 



授業(グローバル科目):狂言で大分を学ぶ



# 宮崎大学(宮崎県)

# 日本の「ひなた」で、一緒に「日本」を学びましょう!



# ■大学紹介

## ① 大学の特色及び概要

宮崎大学は、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部の5つの学部と教育学研究科、看護学研究科、工学研究科、農学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の6つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。本学の概要は次のとおりです。

- (1) 学部/課程、学科、プログラム、コース
- 教育学部/学校教育課程
- 医学部/医学科、看護学科
- 工学部/工学科:応用物質化学プログラム、土 木環境工学プログラム、応用物理工学プログラム、電気電子工学プログラム、機械知能工学プログラム、情報通信工学プログラム
- 農学部/植物生產環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科、畜産草地科学科、獣医学科
- 地域資源創成学部/地域資源創成学科:企業マネジメントコース、地域創造コース、地域産業 創出コース
- (2) 学内共同教育研究施設(学生利用施設)

附属図書館、国際連携センター(留学交流係: GSO)、安全衛生保健センター、障がい学生支 援室、イスラーム文化研究交流棟(礼拝場所)





### ② 国際交流の実績

31カ国・地域130機関と協定を締結し、5つの海外拠点オフィスを設置して、学生交流や研究・教育に関する協力や交流を積極的に推進しています。

海外拠点オフィス: マランオフィス(インド ネシア)、ジョグジャカルタオフィス(イン ドネシア)、ヤンゴンオフィス(ミャン マー)、ハノイオフィス(ベトナム)、バン グラデシュオフィス(バングラデシュ)

外国人留学生対象の短期留学プログラムとして、夏には3週間のサマープログラム、冬には約10日間のウィンタープログラムが開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止となっています。

また、JSTのさくらサイエンスプログラムについては、今年度より、学生・研究者の受入れを再開しました。

# ②過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本 文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2022年:留学生数159人、日研生1人 2021年:留学生数158人、日研生2人 2020年:留学生数187人、日研生3人









### ④ 地域の特色

自然: 新鮮な空気、紺碧の海、まぶしい陽光

宮崎は九州南部に位置し、日本で最も暖かい場所の一つです。宮崎市の人口は約40万人と小さいですが、自然が豊かで、スポーツが盛んです。夏にはサーフィン、1~2月には野球やサッカーなどのスポーツキャンプでにぎわいます。

### 歴史: 神話の舞台

雄大な自然に囲まれた宮崎は、日本神話の舞台 となっています。

人・生活: のんびり、おおらか

おおらかでのんびりとした気質です。また、日本で最も物価が安い地域でもあります。













# ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

(a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

日本語を用いて地域や社会の活動に参加するこ とを通して、体験を伴う、日本事情・日本文化の 学習を目的としています。

(b) 主に日本語能力の向上のための研修

日本語能力の向上、および日本の文化や自然へ の理解を深めることを目的としています。

### ② 研修・コースの特色

### 【教育方針】

日本語科目で日本語能力を指導するとともに、 日本事情科目や日本人学生向け講義への参加、地 域での活動・巡検等の体験を通じて、日本や宮崎 の文化を広く学び、理解を深めることを目的とし ています。

また、留学後の研修生の進学・就業など生涯設 計も見据えながら、1年間の留学の成果を「目に見 える形」とするために、研修修了までに「レポー ト・(小)論文」を作成することを目指していま す。

### 【特徴】

研修生には指導教員による学習の指導・支援が 行われます。指導教員とは別に、日本籍学生によ るチューター制度も完備されています。

他の交換留学生とともに日本語・日本事情を学 び、日本人学生が学ぶ一般科目も受講することが できます。

- ◆ 全レベル年中開講: 前期、後期でそれぞれ、 同じ科目を開講していますので、前期、後期の いずれの学期から留学しても、希望するレベル の科目を受講できるカリキュラムになっていま す。
- ◆ 再学習可能: 半期(前期/後期)の学習では 修得が不十分と感じた場合、単位取得後でも、 同じレベルのクラスを、単位取得対象として再 受講できます。

### 【研修内容】

### 日本語科目

入門から超上級まで7段階に細かく分けられた科 目構成による、適切なレベルでの学習を提供しま す。特に、高度な論文執筆やビジネス日本語の支 援、教員の指導が充実しています。

## 日本事情に関する科目

特色ある以下の3科目を提供しています。

- ・ビジネス日本語: 上級、中級を開講。
- ・日本事情概論: 全学の教員が様々な分野に関す る、今の日本や宮崎の話題について紹介。
- ・日本語地域インターンシップ: 実体験、経験を 通じて、日本の社会や文化への理解を深めてもら うために、留学生の地域での活動を支援する科目。

# ③ 受入定員

5名 (大使館推薦3名、大学推薦2名)

### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ·日本語能力検定試験: N2合格以上
- ・日本と母国の架け橋人材に相応しい人物

# ⑤ 達成目標

- ・留学前より上のレベルの科目の履修。
- ・修了論文を作成する。

# ⑥ 研修期間 (在籍期間)

渡日時期: 2023年9月下旬または10月上旬

帰国時期: 2024年9月下旬

在籍期間: 2023年10月1日~2024年9月30日

(修了式: 9月(2022年は9月28日))

(退寮日: 9月下旬)

# ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ~ 2024年9月

### ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日

オリエンテーション\*(後期) 10月 防災セミナー\*(後期)

11月 大学祭\*

留学生のためのビジネス講座\*

12月 冬期休暇 2-3月 春期休暇

4月 オリエンテーション\* (前期) 防災セミナー\* (前期)

みやざき国際フェスティバル\* 5月

6月 留学生スポーツ大会\*

7月 えれこっちゃみやざき市民総踊り\*

8-9月 夏期休暇

9月 修了証書授与、帰国

\* 新型コロナウイルス感染拡大への対応のため、 各行事はオンラインまたは中止となる場合あり。

# ⑨ コースの修了要件

- 1. 留学の前半(10-3月期)に上級日本語1. 後半 (4-9月期)に超上級日本語を必ず履修し修了論 文を執筆に取り組むこと。
- 2. 留学期間中に上級日本語 II. 上級日本語 III. 上 級日本語IVの3科目を必ず履修すること。
- 3. 留学期間に選択科目を2科目以上履修すること。

# (11) 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

各国の留学生や日本人学生と広く交流しながら、 日本語、日本事情を学ぶことができます。授業や 学内・学外の様々な交流活動から興味・関心のあ るテーマを発見し発展させていきます。日本語科 目で学術論文の講読に必要なリテラシーを養い、 文章作成の技術を学びながら修了論文の執筆を目

指します。

- 2) 研修・コース開設科目
- I) 必修科目1(一年を通して履修する)
- ·上級日本語I-B (アカデミック・ライティング)
- ·超上級日本語A(研究論文の講読と執筆)
- I) 必修科目2(各科目とも年2回開講) 年2回(前期/後期) 開講の科目なので、学習計画 に合わせて、前期か後期のいずれかに必ず履修す ること。
- ·上級日本語II (4技能の総合的学習)
- ·上級日本語III (ロ頭発表・議論・討論)
- ·上級日本語IV (地域を知る・交流)

### Ⅱ) 選択科目

研修生本人の希望及び指導教員からの指導を十分に考慮しながら、修了論文のテーマに関連する 科目と論文執筆に関連する科目を積極的に履修してください。以下の科目は選択科目の一例です。

- ·日本事情概論(前期/後期 各22.5時間)
- ・ビジネス日本語(前期/後期 各22.5時間)

(なお、科目名や内容は変更となる場合がありますので、ご了承ください)

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出 来る科目

### <u>科目</u>

- ·日本語地域インターンシップ
- ・地域活動: 宮崎国際フェスティバルや地域の祭などに地域の社会活動への参加。





### 4) 日本人学生との共修がある科目

基礎教育科目: 初年度日本人学生向け教養科目。 豊富な科目数の中から選択し、担当講師の了解を 得て、日本人学生とともに履修することができる。

### ⑪ 指導体制

多言語多文化教育研究センター 松永 稔也 (日本語教育部門) 小柴 裕子 (日本語教育部門) 金 智賢 (アジア・ヨーロッパ系部門)

# 国際連携センター

伊藤 健一(日本語教育部門兼務) その他関連教員

# ■宿 舎 (コロナ対策により一部利用制限中)

【学生寮(一般日本人学生用)】

定員:男子寮 100室、女子寮 100室

<国際交流宿舎> ※

単身室: 165室 月額4,700円

夫婦・家族室: 4室

夫婦室:月額9,500円 家族室:14,200円

<木花ドミトリー>

単身室: 31室 月額24,000円

(光熱水費・Wi-fi込)

<清武ドミトリー>

単身室: 50室 月額25,800円

(光熱水費・Wi-fi込)

【宿舎設備・備品】

各部屋: ベッド、机、椅子、クローゼット 共同: 調理場、洗濯室、風呂、トイレ

宿舎費前納: 必要なし。

※ 滞在期間1年の短期 留学となる日研生は、基本的に国際交流宿舎(単身室)となります。



# ■修了生へのフォローアップ

- ·日本語・英語による大学からのFacebookによる情報発信
- ・海外同窓会(インドネシア・台湾・ベトナム・ ミャンマー)
- ·JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致 事業(The Japan Exchange and Teaching Programme))による再来日の支援
- ·修了、帰国後の地域企業等へのインターンシップ、 就業による再来日希望者への支援



# ■問合せ先

<担当部署>

宮崎大学国際連携機構国際連携課留学交流係

(GSO: Global Support Office)

住所: 〒889-2192

宮崎県宮崎市学園木花台西1-1

TEL: +81-985-58-7134 (直通)

FAX: +81-985-58-7782

Email: ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp

**<ウェブサイト>** 

宮崎大学国際連携センター:

https://www.miyazaki-u.ac.jp/kokusai/

宮崎大学:

www.miyazaki-u.ac.jp/